



第3章 中津川市の現状と課題

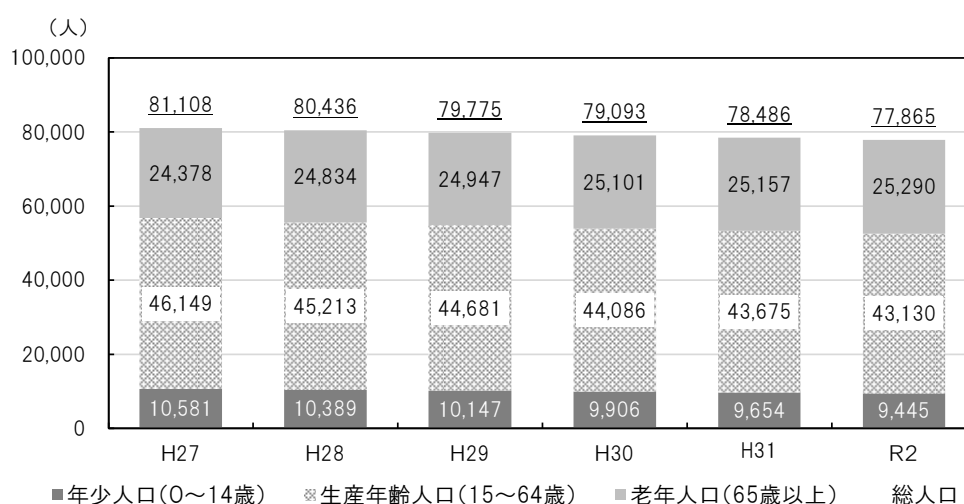
1 統計から見る中津川市の現状

(1) 人口の状況

① 総人口の推移

総人口の推移をみると年々減少傾向にあり、令和2年では77,865人となっています。年齢3区分別にみると、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は減少し、老年人口（65歳以上）は増加しています。

■ 総人口の推移



資料：住民基本台帳（各年3月末時点）

② 地区別人口の状況（令和2年4月末現在）

地区別人口をみると、地区によって差がある状況となっています。中津地区の26,143人が最も多く、川上地区の751人が最も少なくなっています。

■ 地区別人口

単位：人

	中津	苗木	坂本	落合	阿木	神坂	坂下
男性	12,779	3,035	6,348	1,782	1,032	646	2,124
女性	13,364	3,155	6,404	1,837	1,106	666	2,261
計	26,143	6,190	12,752	3,619	2,138	1,312	4,385
	川上	加子母	付知	福岡	蛭川	山口	
男性	371	1,331	2,620	3,068	1,553	481	
女性	380	1,374	2,809	3,330	1,685	512	
計	751	2,705	5,429	6,398	3,238	993	

資料：住民基本台帳（令和2年4月末時点）

(2) 公共スポーツ施設等の状況

① スポーツ施設の利用状況の比較

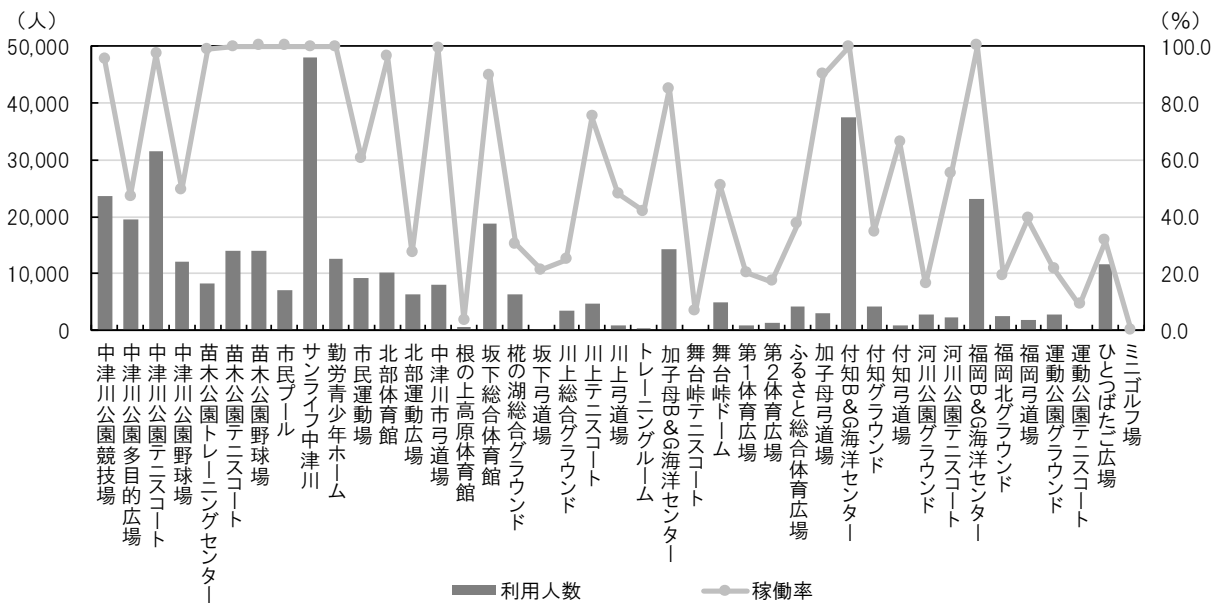
本市には、中津川公園の競技場や多目的広場、サンライフ中津川、加子母、付知及び福岡地域のB&G海洋センターなど、多様なスポーツ施設が整備されています。

平成27年度から令和元年度にかけて、多くの施設で利用者が減少傾向にある中、令和元年度のサンライフ中津川の利用者数は49,854人となっており、平成27年度の48,138人と比べて1,716人増加しています。

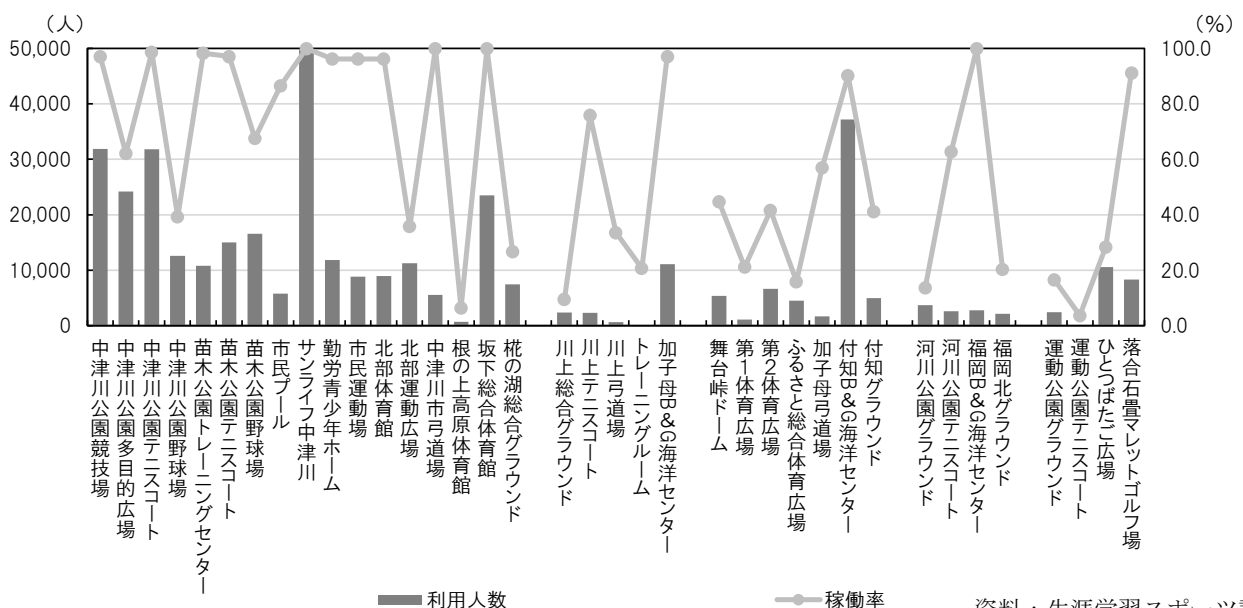
平成27年度以降に、坂下弓道場、付知弓道場、福岡弓道場、蛭川ミニゴルフ場、舞台峠テニスコートが廃止となっています。

■ 文化スポーツ施設の利用人数・稼働率

(平成27年度)



(令和元年度)



資料：生涯学習スポーツ課

■文化スポーツ施設の一覧（令和元年度）

施設名称	所在地	利用人数（人）	稼働率（％）
中津川公園競技場	中津川市茄子川 1683-1031	31,875	97.1
中津川公園多目的広場	中津川市茄子川 1683-1031	24,179	62.1
中津川公園テニスコート	中津川市茄子川 1683-1031	31,826	98.6
中津川公園野球場	中津川市茄子川 1683-800	12,600	39.3
苗木公園トレーニングセンター	中津川市苗木 4610-24	10,801	98.3
苗木公園テニスコート	中津川市苗木 4610-24	15,023	97.1
苗木公園野球場	中津川市苗木 4610-24	16,561	67.6
市民プール	中津川市駒場 1658-23	5,744	86.5
サンライフ中津川	中津川市手賀野 172-1	49,854	100.0
勤労青少年ホーム	中津川市手賀野 172	11,888	96.2
市民運動場	中津川市手賀野 169-1	8,874	96.2
北部体育館	中津川市千旦林 1573-45	8,938	96.2
北部運動広場	中津川市千旦林 1574-5	11,267	35.8
中津川市弓道場	中津川市手賀野 169-1	5,577	100.0
根の上高原体育館	中津川市手賀野 746-124	673	6.4
坂下総合体育館	中津川市坂下 1512-1	23,531	100.0
椈の湖総合グラウンド	中津川市坂下 5178	7,433	26.7
川上総合グラウンド	中津川市川上 1433-2	2,401	9.5
川上テニスコート	中津川市川上 1433-2	2,355	75.9
川上弓道場	中津川市川上 1433-2	622	33.6
トレーニングルーム	中津川市川上 1437-1	176	20.7
加子母 B&G 海洋センター	下呂市御厩野 3015-102	11,072	97.1
舞台峠ドーム	下呂市御厩野 3015-66	5,383	44.7
第1体育広場	中津川市加子母 3885-1	1,104	21.2
第2体育広場	中津川市加子母 3885-1	6,634	41.6
ふるさと総合体育広場	中津川市加子母 2781-67	4,529	15.9
加子母弓道場	中津川市加子母 3885-1	1,694	57.0
付知 B&G 海洋センター	中津川市付知町 5692	37,214	90.2
付知グラウンド	中津川市付知町 3927	4,982	41.1
河川公園グラウンド	中津川市付知町 6823	3,715	13.7
河川公園テニスコート	中津川市付知町 6823	2,600	62.7
福岡 B&G 海洋センター	中津川市福岡 1-21	2,758	100.0
福岡北グラウンド	中津川市田瀬 1828	2,155	20.3
運動公園グラウンド	中津川市蛭川 4903-1	2,409	16.6
運動公園テニスコート	中津川市蛭川 4903-1	46	3.7
ひとつばたご広場	中津川市蛭川 2189-1	10,578	28.4
落合石畳マレットゴルフ場	中津川市落合 1447-124	8,346	91.2

※稼働率は開館日のうち利用があった日数の割合。
資料：生涯学習スポーツ課

(3) 子どものスポーツへの取組状況

①体力の状況

令和元年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果によると、岐阜県の小学校児童の種目別平均点は、男子で3種目、女子で3種目が全国平均を上回っています。また、中学校生徒の種目別平均は、男子で7種目、女子で8種目が全国平均を上回っています。

平成26年度と比較すると、小学生男子、中学生男子は体力合計点が減少している一方、小学生女子、中学生女子は増加しています。

■小学生の運動能力（平成26年度）

	種目別平均								体力合計点
	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	
岐阜県 (男子)	16.25	19.41	32.51	42.06	50.88	9.34	151.61	23.37	53.84
全国 (男子)	16.55	19.56	32.87	41.61	51.67	9.38	151.71	22.89	53.91
岐阜県 (女子)	15.74	18.10	36.86	39.84	38.94	9.62	144.81	14.53	54.93
全国 (女子)	16.09	18.26	37.22	39.37	40.30	9.63	144.79	13.89	55.01

資料：全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（平成26年度）

■小学生の運動能力（令和元年度）

	種目別平均								体力合計点
	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	
岐阜県 (男子)	16.01	19.65	32.59	42.44	48.96	9.41	150.43	21.81	53.35
全国 (男子)	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.47	21.60	53.61
岐阜県 (女子)	15.80	18.98	36.74	40.69	39.15	9.65	144.62	14.24	55.40
全国 (女子)	16.09	18.95	37.62	40.14	40.80	9.63	145.70	13.59	55.59

資料：全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（令和元年度）

■中学生の運動能力（平成 26 年度）

	種目別平均									体力合計点
	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	持久走 1500m 1000m (秒)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	
岐阜県 (男子)	29.05	27.40	44.47	52.53	395.92	85.13	7.93	195.42	21.31	42.82
全国 (男子)	29.00	27.36	42.87	51.31	393.74	85.02	8.03	193.44	20.81	41.63
岐阜県 (女子)	23.83	22.81	46.07	46.09	297.66	56.65	8.80	167.47	13.37	49.32
全国 (女子)	23.68	22.99	45.25	45.64	291.18	57.50	8.87	166.47	12.81	48.55

資料：全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（平成 26 年度）

■中学生の運動能力（令和元年度）

	種目別平均									体力合計点
	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	持久走 1500m 1000m (秒)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	
岐阜県 (男子)	28.51	26.91	43.94	52.80	399.59	84.34	7.98	194.51	20.42	42.10
全国 (男子)	28.64	26.85	43.43	51.87	400.03	83.13	8.02	195.02	20.35	41.56
岐阜県 (女子)	23.89	23.64	46.75	47.89	295.29	58.20	8.75	170.39	13.39	51.01
全国 (女子)	23.74	23.58	46.29	47.25	290.55	57.98	8.81	169.71	12.87	50.03

資料：全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（令和元年度）

②スポーツ少年団の状況

スポーツ少年団に登録されているスポーツは 11 種目となっています。

また、令和元年度のスポーツ少年団に加入している子どもの人数は、小学生で 466 人、中学生で 176 人、高校生で 2 人と、いずれも平成 26 年度と比べると減少傾向にあります。

スポーツ少年団の登録指導者数は、平成 26 年から平成 29 年にかけて減少傾向にありましたが、平成 30 年以降は増加しています。種目別にみると、野球、サッカー、ソフトテニスが平成 26 年以降で増加している一方、体操、卓球、バスケットボールは平成 29 年以降 0 人となっています。

■スポーツ少年団に登録されているスポーツ（令和 2 年 10 月現在）

剣道	野球	サッカー	空手
弓道	柔道	バレーボール	陸上
ソフトテニス	ソフトボール	スキー	

資料：生涯学習スポーツ課

■スポーツ少年団に加入している子どもの人数

	小学生		中学生		高校生	合計 (人)	児童生徒数		
	団員数 (人)	加入率 (%)	団員数 (人)	加入率 (%)	団員数 (人)		小学生 (人)	中学生 (人)	合計 (人)
H26	520	11.9	308	13.0	4	832	4,377	2,368	6,745
H27	507	11.9	252	10.8	6	765	4,275	2,332	6,607
H28	493	11.8	236	10.4	5	734	4,161	2,277	6,438
H29	518	12.5	182	8.2	10	710	4,146	2,213	6,359
H30	500	12.3	176	8.3	13	689	4,078	2,118	6,196
R1	466	11.6	176	8.5	2	644	4,027	2,060	6,087

資料：生涯学習スポーツ課

■スポーツ少年団の指導者数

(単位：人)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
剣道	43	37	40	42	45	40
野球	31	31	31	32	39	45
サッカー	41	46	49	51	52	49
空手	11	11	11	12	10	12
体操	8	8	8	0	0	0
弓道	23	21	19	18	15	13
柔道	20	20	19	19	18	21
バレーボール	6	6	7	4	4	4
陸上	12	10	7	11	11	11
ソフトテニス	6	6	6	6	9	10
卓球	5	2	2	0	0	0
バスケットボール	4	3	3	0	0	0
ソフトボール	3	3	3	3	3	3
スキー	5	4	4	4	4	4
テニス	0	0	0	0	0	0
計	218	208	209	202	210	212

資料：生涯学習スポーツ課

(4) スポーツ活動に取り組んでいる団体の状況

①中津川市体育協会加盟団体

中津川市体育協会は、アマチュアスポーツの競技力の向上と、次世代の選手育成に努めるとともに、市民の体力向上を図り、スポーツ精神を養い、地域の発展に寄与することを目的として活動しています。

■競技団体（令和2年11月現在：24団体）

アーチェリー協会	カヌー協会	空手道連盟	剣道連盟
サッカー協会	山岳連盟	射撃協会	柔道協会
水泳協会	スキー協会	スケート協会	ソフトテニス連盟
ソフトボール協会	体操協会	卓球連盟	テニス協会
軟式野球連盟	バスケットボール協会	バドミントン協会	バレーボール協会
マレットゴルフ協会	弓道連盟	陸上競技協会	レスリング協会

資料：生涯学習スポーツ課

■支部団体（令和2年11月現在：15団体）

東支部	南支部	西支部	苗木支部
坂本支部	落合支部	阿木支部	神坂支部
山口支部	坂下支部	川上支部	加子母支部
付知支部	福岡支部	蛭川支部	

資料：生涯学習スポーツ課

■関係団体（令和2年11月現在：4団体）

スポーツ推進委員会	中学校体育連盟
レクリエーション協会	スポーツウェルネス吹矢ぎふ中津川支部

資料：生涯学習スポーツ課

(5) 情報提供に関する状況

①スポーツに関する情報提供の状況

本市では、広報なかつがわにおいて、スポーツ活動に関する情報提供を実施しています。また、市ホームページのスポーツ施設予約状況閲覧システムにより、スポーツ施設の予約情報や使用規定・料金表を公開しています。

(6) スポーツ観戦の状況

①市内の観戦事業一覧

本市では、年に一度「FC 岐阜 中津川ホームタウンデー」を開催しており、市内の観客動員数は毎年 100 人程度となっています。その他に、高校野球の交流戦等を行っています。

■平成 27 年度～令和元年度の観戦事業一覧

年度	観戦事業	観戦者数	種目	実施日
H27	慶應義塾大学野球部 交流試合	300 人	野球	8 月 26～28 日
	FC 岐阜 中津川ホームタウンデー FC 岐阜 vs ジェフユナイテッド千葉	100 人 ※中津川市からの 観戦動員者数	サッカー	10 月 25 日
H28	慶應義塾大学 vs 中京大学 交流戦	400 人	野球	8 月 12 日
	FC 岐阜 中津川ホームタウンデー FC 岐阜 vs FC 町田ゼルビア	100 人 ※中津川市からの 観戦動員者数	サッカー	10 月 22 日
	慶應義塾高校 vs 市内高校 交流戦	200 人	野球	11 月 5、6 日
H29	FC 岐阜 中津川ホームタウンデー FC 岐阜 vs 湘南ベルマーレ	100 人 ※中津川市からの 観戦動員者数	サッカー	11 月 11 日
	2017/18 V チャレンジリーグ 女子中津川大会	2,200 人	バレーボール	2 月 10、11 日
H30	大相撲中津川場所	3,000 人	大相撲	4 月 2 日
	FC 岐阜 中津川ホームタウンデー FC 岐阜 vs 大宮アルディージャ	100 人 ※中津川市からの 観戦動員者数	サッカー	9 月 1 日
R 1	まん中マッチ FC 岐阜 vs 松本山雅 FC	1,000 人	サッカー	4 月 29 日
	米国女子レスリングチーム夏季合宿 公開練習	50 人	レスリング	7 月 20～26 日
	FC 岐阜 中津川ホームタウンデー FC 岐阜 vs 愛媛 FC	100 人	サッカー	10 月 20 日
	レスリング 2019 女子ワールドカップ応援バスツアー	20 人	レスリング	11 月 16 日

資料：生涯学習スポーツ課



2 アンケート調査から見るスポーツの状況

(1) 調査概要

本市では、市のスポーツ振興の基本的な指針となる「中津川市スポーツ推進計画」を平成27年に策定しました。このたび、計画策定から5年が経過し、計画期間の中間年を迎えることから、計画の中間見直しを行うこととなりました。

この調査は、20歳以上の市民に対し、日頃の運動やスポーツに関する意識や実態、要望等の情報を整理・分析し、課題を明らかにするとともに、計画の中間見直しの基礎資料とするものです。

なお、この調査は、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行している際に実施されたものです。調査の実施にあたり、新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛期間以前の生活状況を基準として回答をお願いしています。

■アンケート調査の概要

	内容
調査地域	中津川市全域
調査対象	中津川市在住の20歳以上の市民2,000人
調査期間	令和2年8月17日(月)～9月2日(水)
調査方法	郵送配布・郵送回収
回収結果	配布数2,000、回収数865、回収率43.3%

(2) アンケート調査結果の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 表中の網掛けは、「不明・無回答」を除き、最も割合の高い項目と2番目に割合の高い項目で表しています。

(3) ご自身のスポーツ活動について

① あなたは普段、運動不足を感じますか。(〇は1つ)

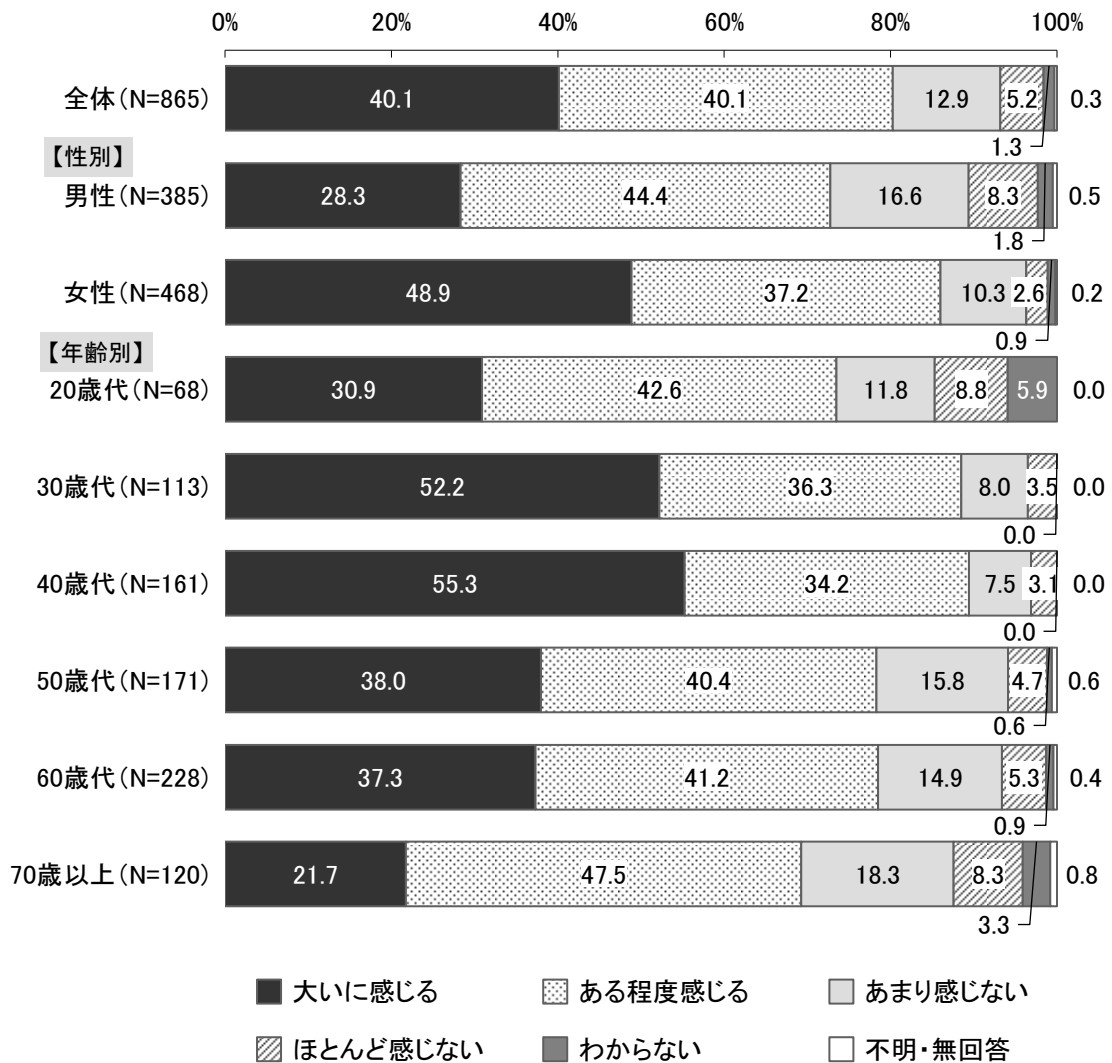
「大いに感じる」+「ある程度感じる」=『感じる』

「あまり感じない」+「ほとんど感じない」=『感じない』

普段、運動不足を感じているかについて、全体で『感じる』が 80.2%、『感じない』が 18.1%、「わからない」が 1.3%となっています。

性別にみると、男性で『感じる』が 72.7%なのに対し、女性では 86.1%と 13.4 ポイント上回っています。

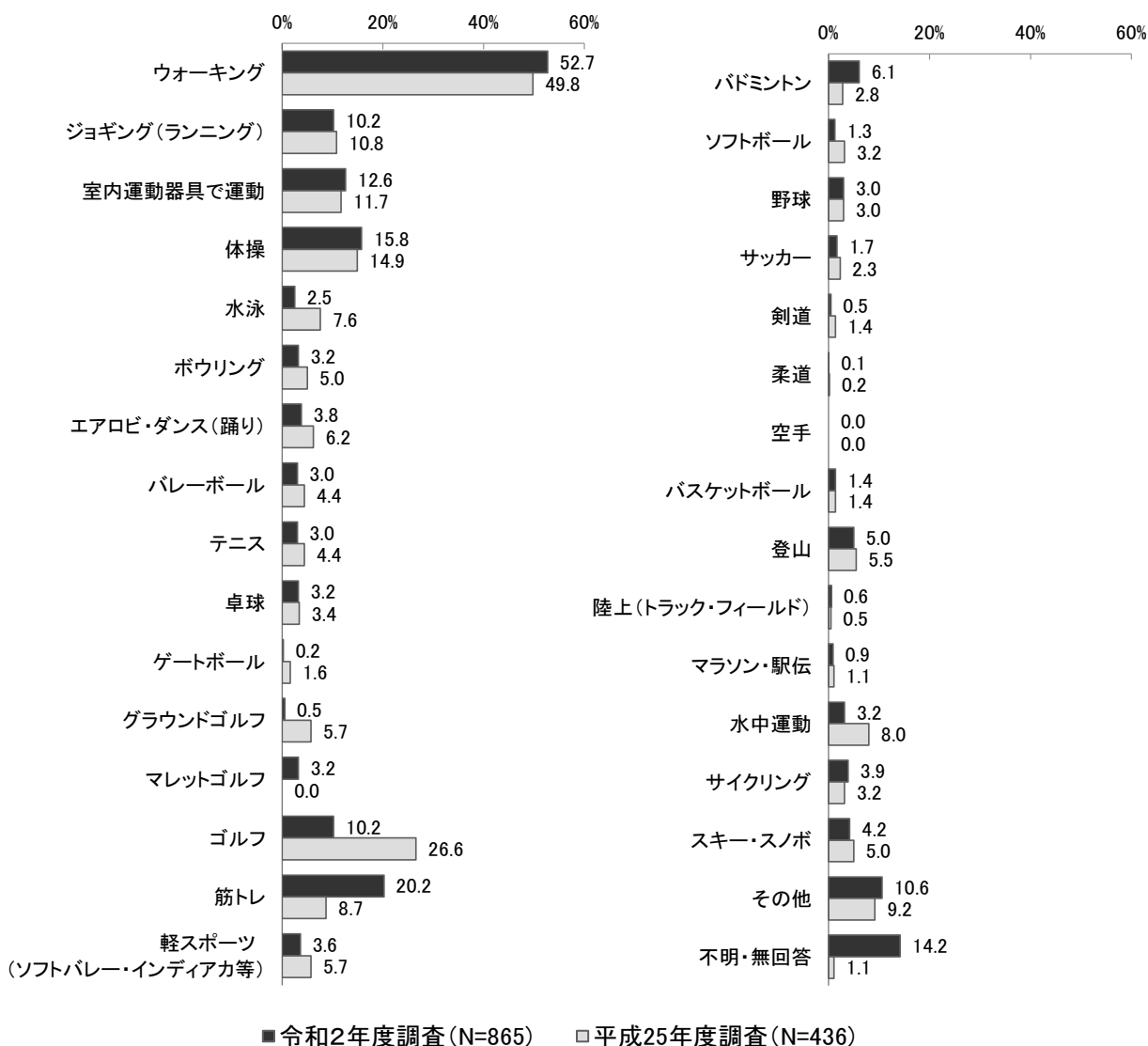
年齢別にみると、30 歳代、40 歳代で『感じる』がそれぞれ 88.5%、89.5%と、他の年代と比べて高くなっています。



② この1年間に行ったスポーツや運動を選んでください。（あてはまるものすべてに○）

この1年間に行ったスポーツや運動について、「ウォーキング」が52.7%と最も高くなっており、次いで「筋トレ」が20.2%となっています。場所を取らずに一人でも気軽に行えるスポーツや運動に取り組んでいる傾向にあります。

前回調査と比較すると、平成25年度で「ゴルフ」が26.6%なのに対し、令和2年度は10.2%と16.4ポイント下がっています。一方、平成25年度で「筋トレ」が8.7%なのに対し、令和2年度は20.2%と11.5ポイント上がっています。



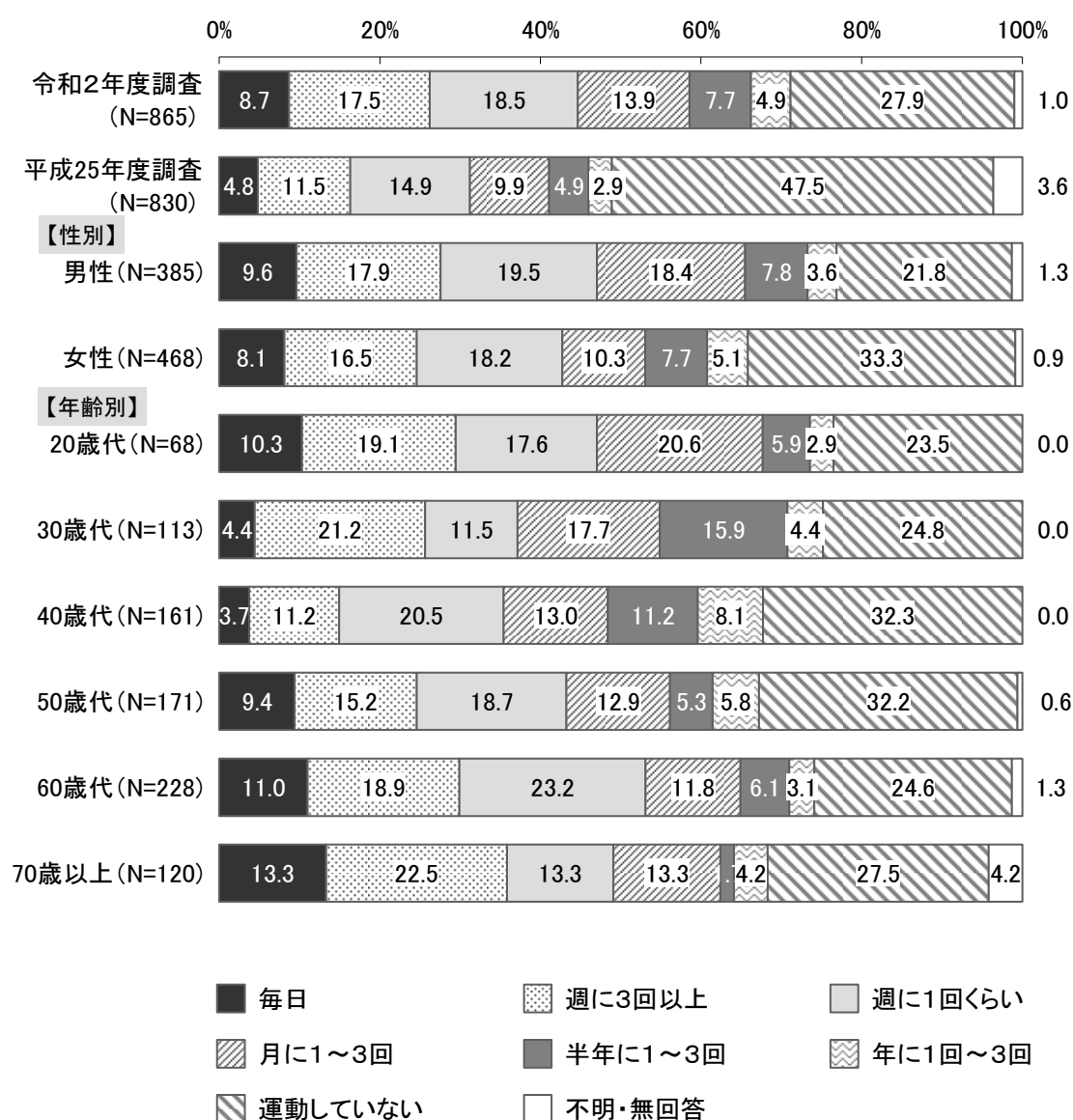
③ どれくらいの割合でスポーツや運動をしますか。(〇は1つ)

どれくらいの割合でスポーツや運動をするかについて、全体では「運動していない」が27.9%と最も高くなっており、次いで「週に1回くらい」が18.5%となっています。

性別にみると、男性で「運動していない」が21.8%なのに対し、女性では33.3%と、11.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、20歳代から40歳代にかけて週に1回以上運動する割合が低くなっています。一方、40歳代から60歳代にかけては週に1回以上運動する割合が高くなっています。

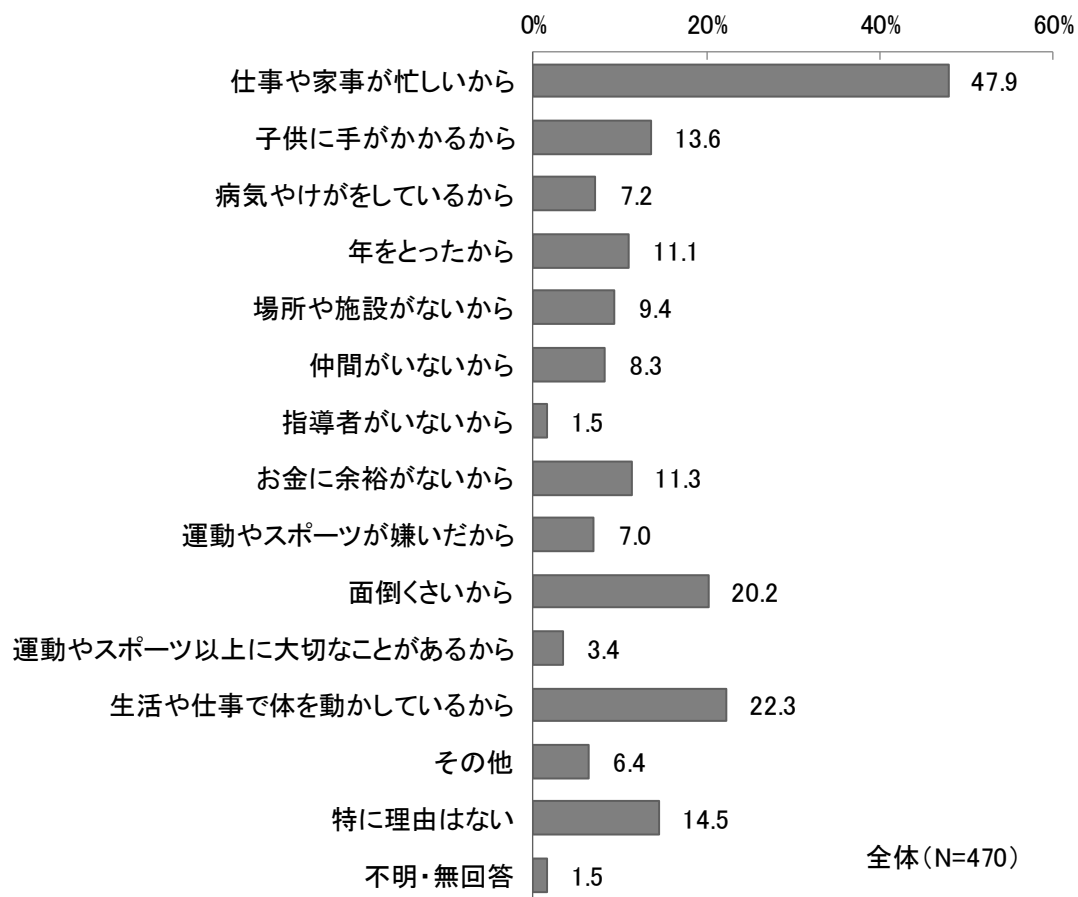
前回調査と比較すると、平成25年度で「運動していない」が47.5%なのに対し、令和2年度は27.9%と、19.6ポイント下がっています。



④ 週に1回以上スポーツや運動が実施できなかった理由は何ですか。(○は1つ)

週に1回以上スポーツや運動を実施できなかった理由について、「仕事や家事が忙しいから」が47.9%と最も高くなっており、次いで「生活や仕事で体を動かしているから」が22.3%となっています。

年齢別にみると、30歳代、40歳代で「子供に手がかかるから」がそれぞれ43.7%、27.9%となっており、他の年代と比べて高くなっています。



■クロス集計

(単位%)

	仕事や家事が忙しいから	子供に手がかかるから	病気やけがをしているから	年をとったから	場所や施設がないから	仲間がないから	指導者がいないから	お金の余裕がないから	運動やスポーツが嫌いだから
全体 (N=470)	47.9	13.6	7.2	11.1	9.4	8.3	1.5	11.3	7.0
【性別】									
男性 (N=199)	45.7	8.5	7.5	17.6	10.1	9.5	1.0	11.6	3.5
女性 (N=264)	48.5	16.7	7.2	6.4	8.3	6.8	1.9	11.4	9.8
【年齢別】									
20歳代 (N=36)	47.2	5.6	0.0	0.0	19.4	16.7	2.8	8.3	16.7
30歳代 (N=71)	62.0	43.7	4.2	1.4	9.9	8.5	0.0	8.5	5.6
40歳代 (N=104)	64.4	27.9	2.9	9.6	6.7	6.7	0.0	13.5	8.7
50歳代 (N=96)	52.1	1.0	8.3	10.4	10.4	10.4	1.0	15.6	7.3
60歳代 (N=104)	28.8	0.0	8.7	19.2	8.7	8.7	3.8	6.7	4.8
70歳代以上 (N=56)	26.8	0.0	17.9	19.6	5.4	1.8	1.8	10.7	3.6

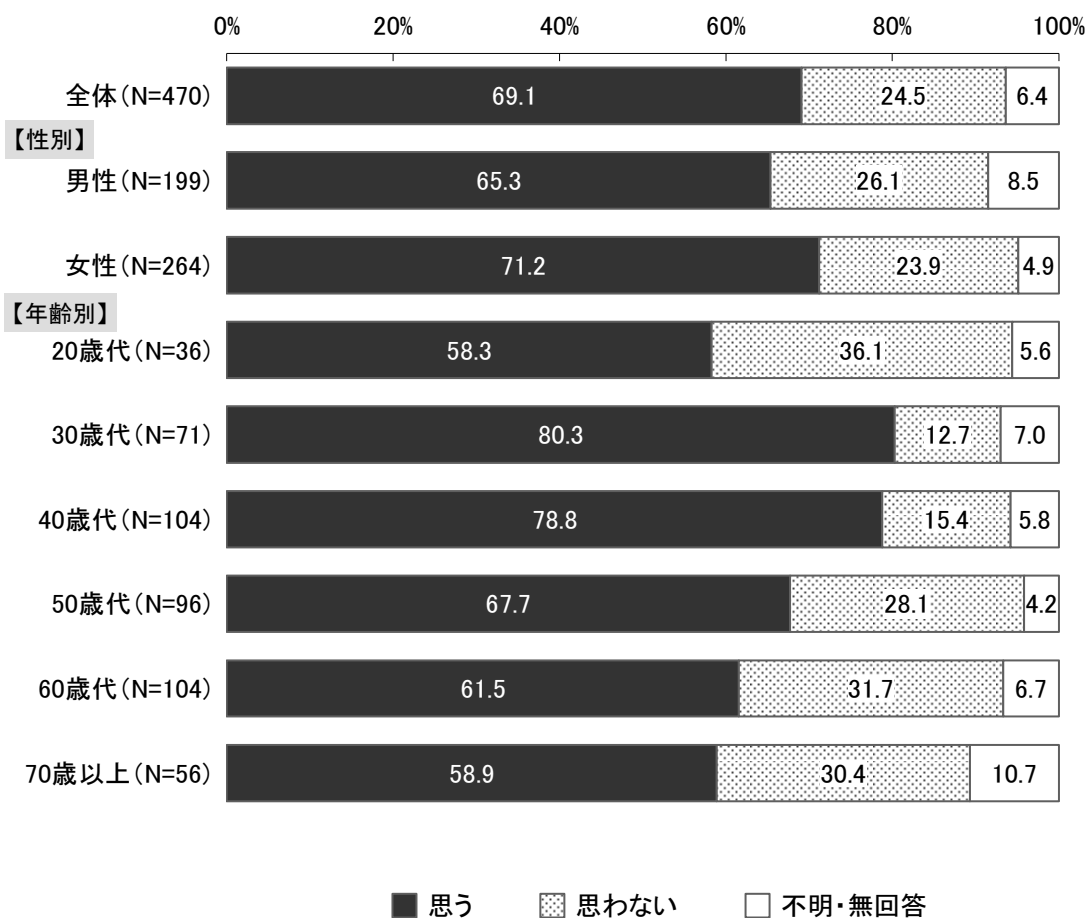
	面倒くさいから	運動やスポーツ以上に大切なことがあるから	生活や仕事で体を動かしているから	その他	特に理由はない	不明・無回答
全体 (N=470)	20.2	3.4	22.3	6.4	14.5	1.5
【性別】						
男性 (N=199)	17.6	4.5	22.1	4.0	14.6	2.0
女性 (N=264)	22.3	2.7	23.1	8.3	14.4	1.1
【年齢別】						
20歳代 (N=36)	33.3	2.8	16.7	2.8	13.9	0.0
30歳代 (N=71)	23.9	4.2	12.7	8.5	5.6	0.0
40歳代 (N=104)	23.1	2.9	18.3	2.9	12.5	1.9
50歳代 (N=96)	21.9	4.2	32.3	5.2	10.4	2.1
60歳代 (N=104)	16.3	4.8	21.2	7.7	26.0	1.9
70歳代以上 (N=56)	5.4	0.0	32.1	12.5	16.1	1.8

⑤ できれば定期的にスポーツや運動をしたいと思われませんか。(〇は1つ)

定期的にスポーツや運動をしたいと思うかについて、全体で「思う」が 69.1%、「思わない」が 24.5%となっています。

性別にみると、男性で「思う」が 65.3%になっているのに対し、女性では 71.2%と、5.9ポイント高くなっています。

年齢別にみると、30歳代、40歳代で「思う」がそれぞれ 80.3%、78.8%と、他の年代と比べて高くなっています。

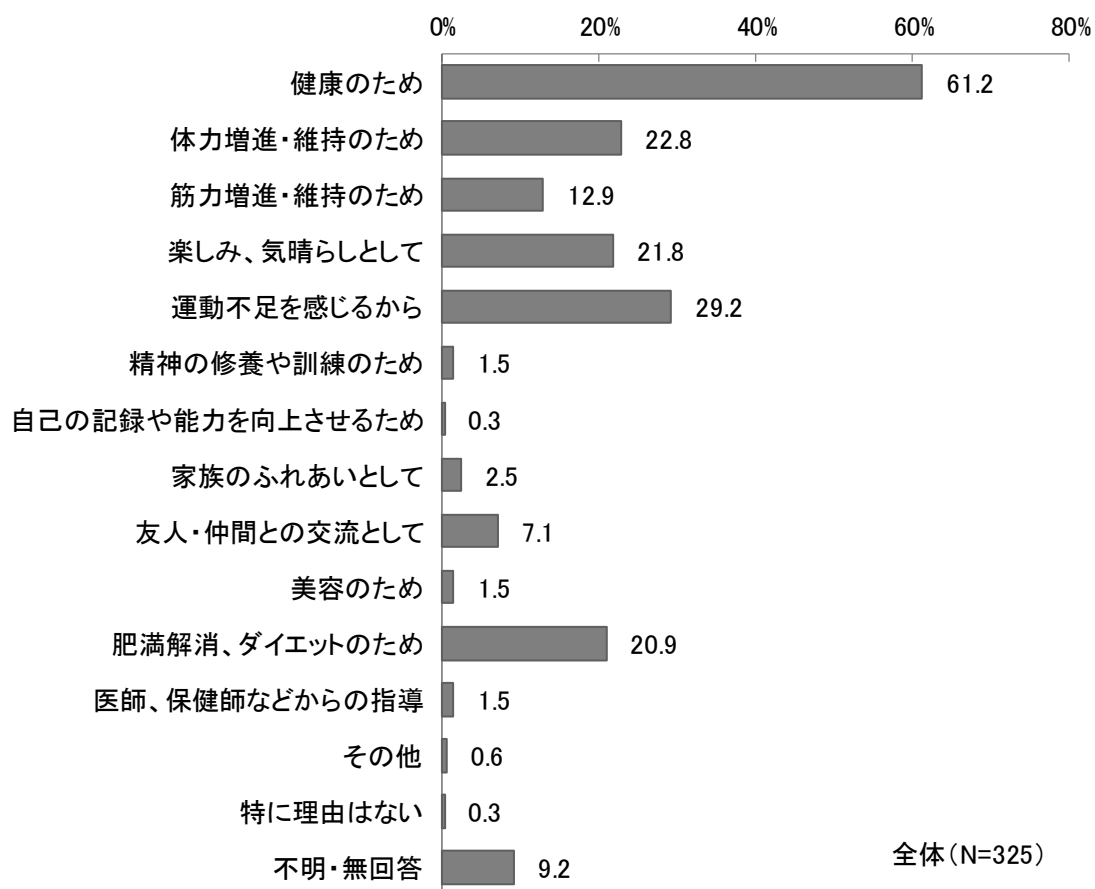


⑥ スポーツや運動をやってみたいと思う理由は何ですか。（〇は2つまで）

スポーツや運動をやってみたいと思う理由について、全体で「健康のため」が 61.2%と最も高くなっており、次いで「運動不足を感じるから」が 29.2%となっています。

性別にみると、男性で「肥満解消、ダイエットのため」が 12.3%なのに対し、女性では 26.6%と、14.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、20歳代で「楽しみ、気晴らしとして」「肥満解消、ダイエットのため」がそれぞれ 33.3%、42.9%と、他の年代と比べて高くなっています。また、70歳代以上で「体力増進・維持のため」が 39.4%と、他の年代と比べて高くなっています。



■クロス集計

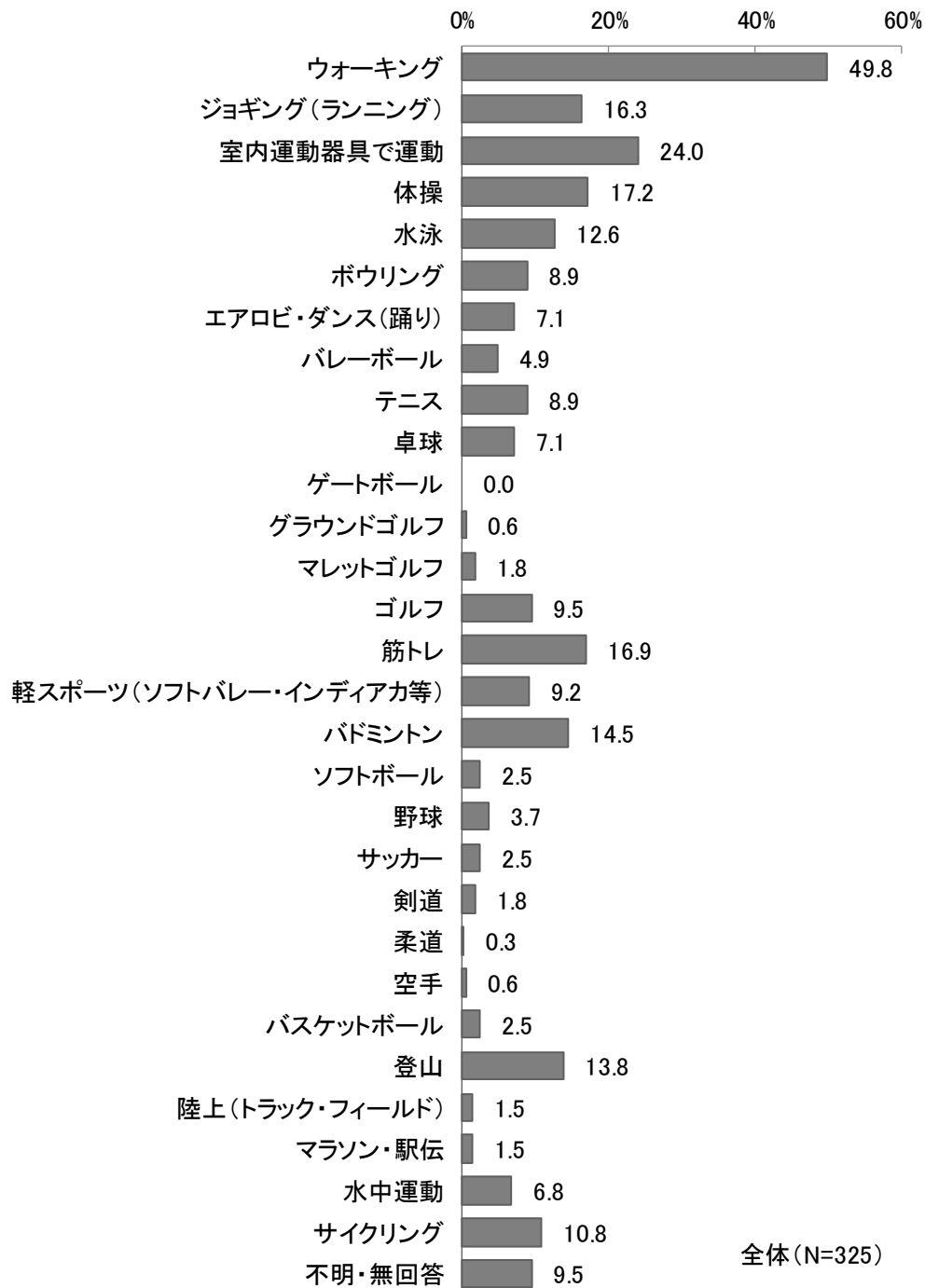
(単位%)

	健康のため	体力増進・維持のため	筋力増進・維持のため	楽しみ、気晴らしとして	運動不足を感じるから	精神の修養や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	家族のふれあいとして	友人・仲間との交流として
全体 (N=325)	61.2	22.8	12.9	21.8	29.2	1.5	0.3	2.5	7.1
【性別】									
男性 (N=130)	61.5	23.8	13.1	21.5	25.4	2.3	0.8	2.3	8.5
女性 (N=188)	62.8	21.8	12.8	21.3	32.4	1.1	0.0	2.7	5.3
【年齢別】									
20歳代 (N=21)	42.9	14.3	9.5	33.3	28.6	4.8	0.0	0.0	9.5
30歳代 (N=57)	61.4	22.8	15.8	24.6	36.8	3.5	0.0	3.5	12.3
40歳代 (N=82)	58.5	20.7	7.3	24.4	28.0	0.0	0.0	6.1	1.2
50歳代 (N=65)	67.7	15.4	13.8	21.5	29.2	1.5	0.0	1.5	10.8
60歳代 (N=64)	65.6	26.6	14.1	17.2	26.6	0.0	1.6	0.0	4.7
70歳代以上 (N=33)	57.6	39.4	21.2	12.1	24.2	3.0	0.0	0.0	9.1

	美容のため	肥満解消、ダイエットのため	医師、保健師などからの指導	その他	特に理由はない	不明・無回答
全体 (N=325)	1.5	20.9	1.5	0.6	0.3	9.2
【性別】						
男性 (N=130)	0.0	12.3	1.5	1.5	0.8	10.0
女性 (N=188)	2.7	26.6	1.1	0.0	0.0	9.0
【年齢別】						
20歳代 (N=21)	4.8	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3
30歳代 (N=57)	1.8	28.1	1.8	0.0	0.0	5.3
40歳代 (N=82)	2.4	24.4	0.0	0.0	0.0	9.8
50歳代 (N=65)	1.5	24.6	1.5	3.1	0.0	7.7
60歳代 (N=64)	0.0	9.4	0.0	0.0	0.0	14.1
70歳代以上 (N=33)	0.0	0.0	9.1	0.0	3.0	6.1

⑦ 今後行ってみたい運動やスポーツを選んでください。（あてはまるものすべてに○）

今後行ってみたい運動やスポーツについて、全体で「ウォーキング」が 49.8%と最も高くなっており、次いで「室内運動器具で運動」が 24.0%となっています。

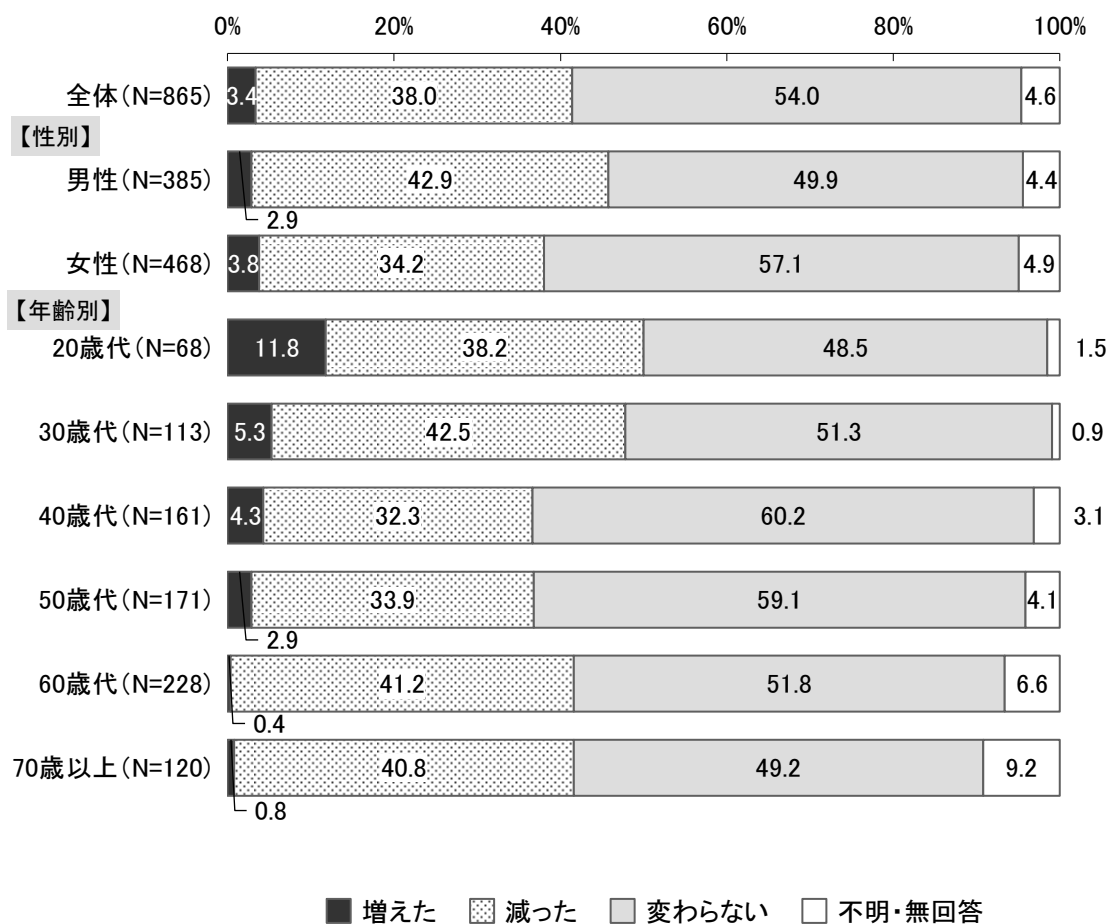


⑧ 新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツや運動を行う頻度に変化はありましたか。(〇は1つ)

新型コロナウイルス感染症の影響による、スポーツや運動を行う頻度への影響について、全体で「増えた」が3.4%、「減った」が38.0%、「変わらない」が54.0%となっています。

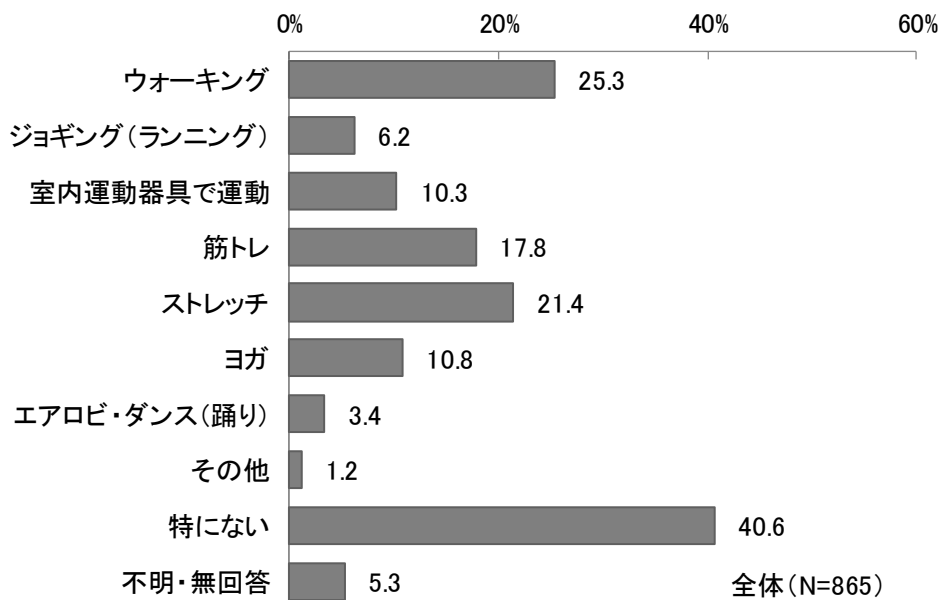
性別にみると、男性で「減った」が42.9%なのに対し、女性は34.2%と、8.7ポイント低くなっています。

年齢別にみると、20歳代で「増えた」が11.8%と、他の年代と比べて高くなっています。



⑨ 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、活動自粛中に新たに取り組み始めた又は今後取り組みたいスポーツや運動はありますか。（あてはまるものすべてに○）

活動自粛中に新たに取り組み始めた又は今後取り組みたいスポーツや運動について、全体で「特にない」が40.6%と最も高くなっており、次いで「ウォーキング」が25.3%となっています。

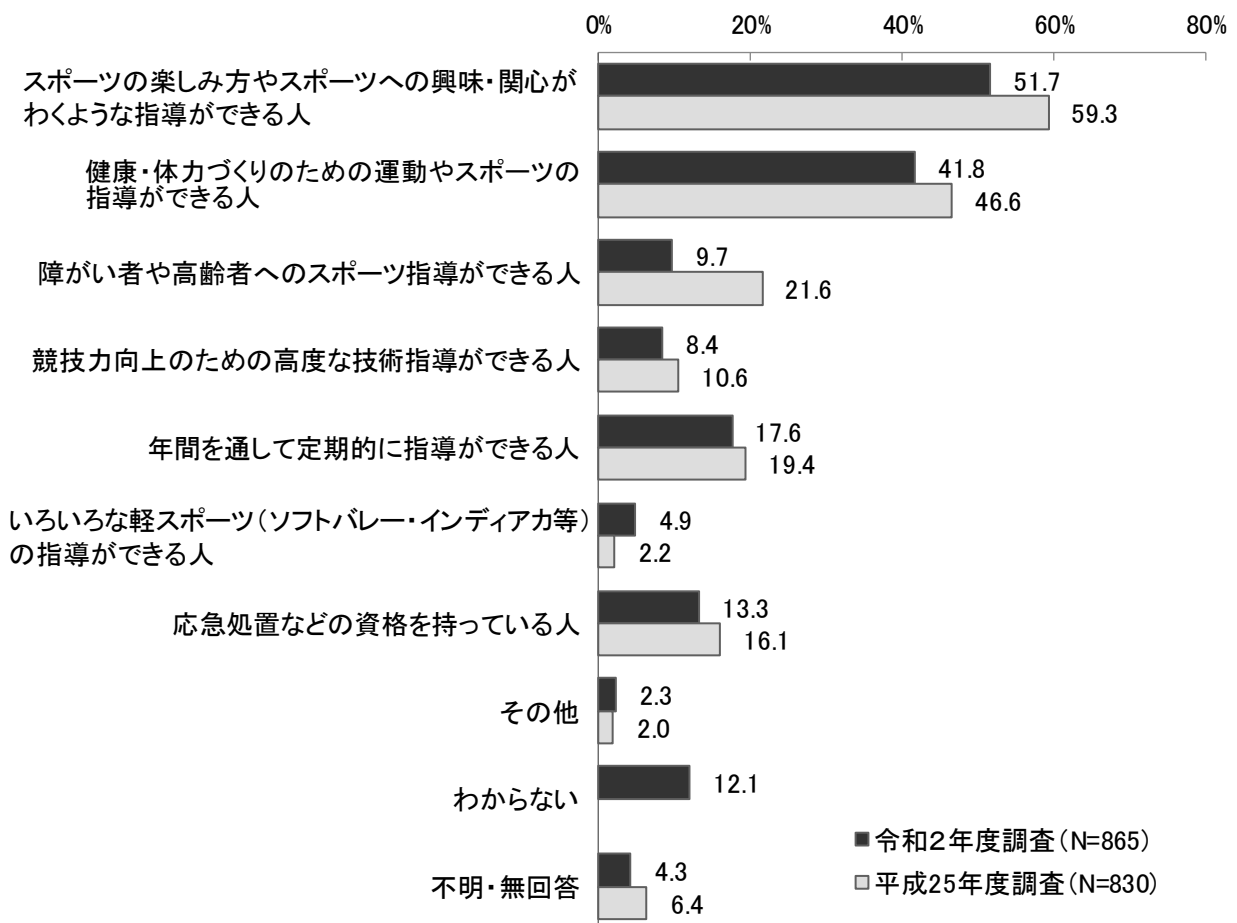


(4) 地域でのスポーツ活動について

- ① スポーツや運動を行うにあたって、どのようなスポーツ指導者が必要だと思われるか。(あてはまるものすべてに○)

どのようなスポーツ指導者が必要だと思うかについて、全体で「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」が51.7%と最も高くなっており、次いで「健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」が41.8%となっています。

前回調査と比較すると、平成25年度で「障がい者や高齢者へのスポーツ指導ができる人」が21.6%なのに対し、令和2年度は9.7%と、11.9ポイント下がっています。



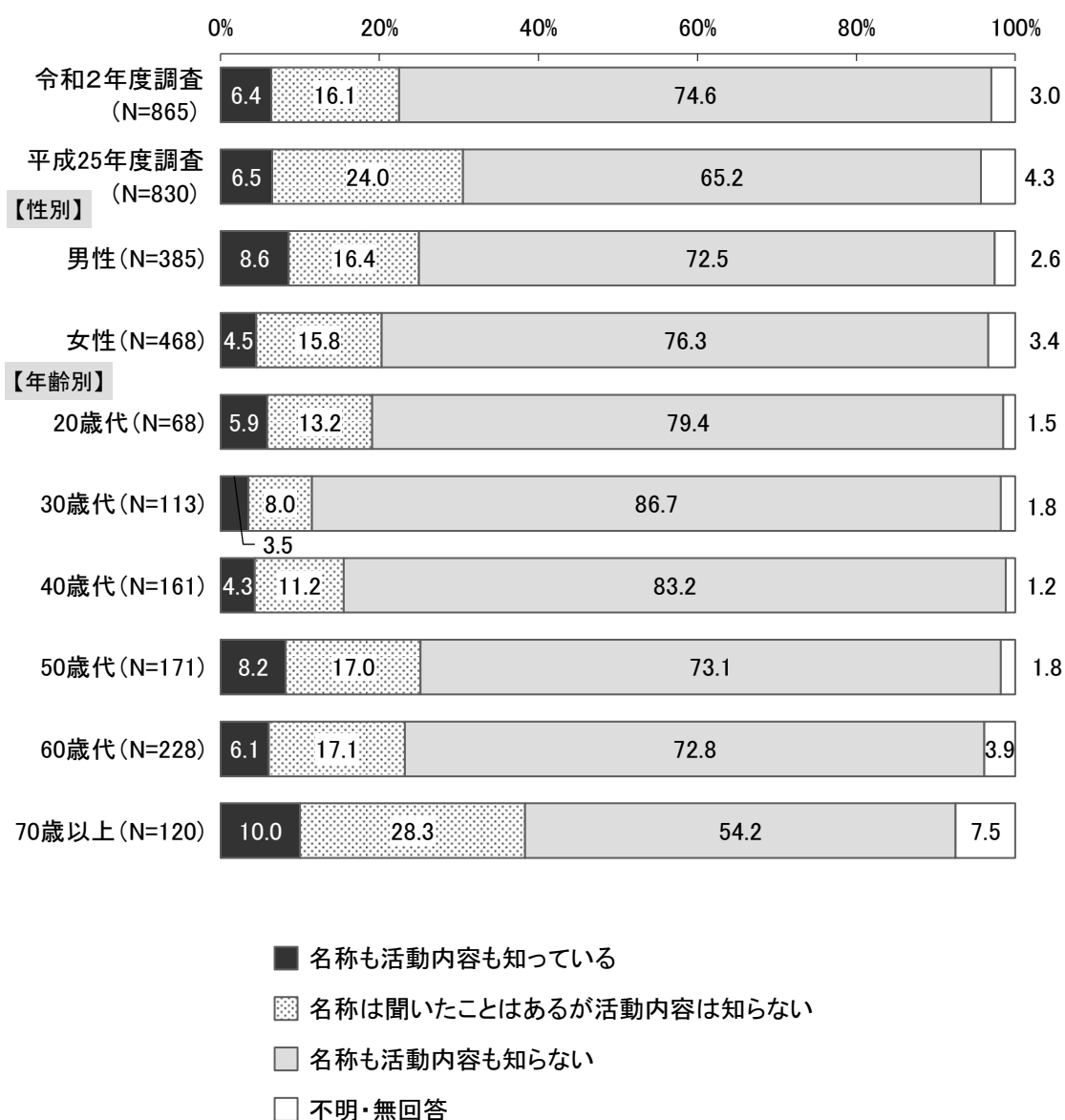
※「わからない」は令和2年度のみを選択肢

② 市内にある「総合型スポーツクラブ」について知っていますか（〇は1つ）

「総合型スポーツクラブ」を知っているかについて、全体では「名称も活動内容も知っている」が 6.4%、「名称は聞いたことはあるが活動内容は知らない」が 16.1%、「名称も活動内容も知らない」が 74.6%となっています。

年齢別にみると、70歳代以上で「名称も活動内容も知らない」が 54.2%と、他の年代と比べて低くなっています。

前回調査と比較すると、平成 25 年度で「名称も活動内容も知らない」が 65.2%なのに対し、令和 2 年度は 74.6%と、9.4 ポイント上がっています。



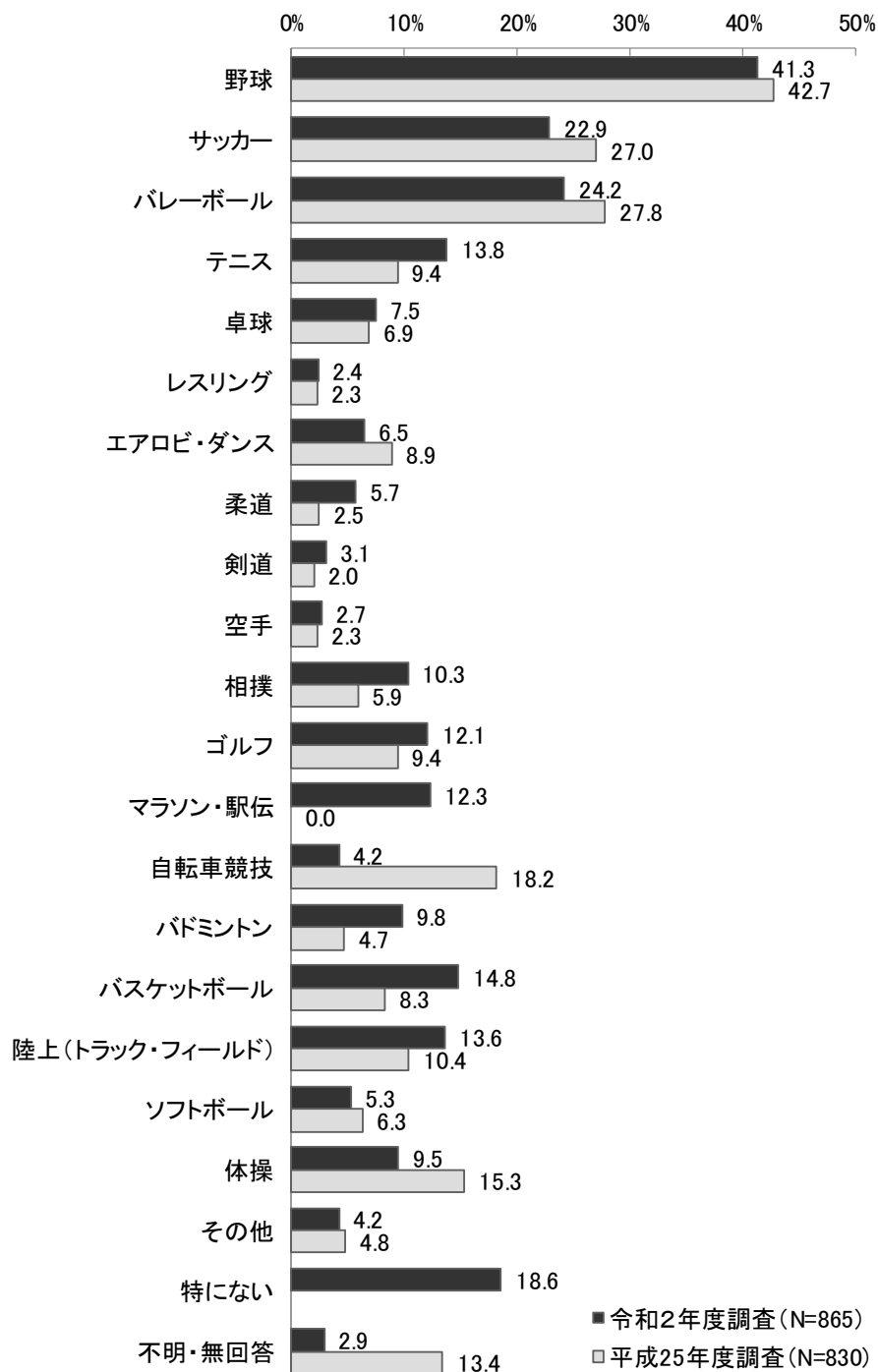
※平成 25 年度調査「名前は聞いたことはあるが活動内容は知らない」は、「なんとなく知っている」「聞いたことがある」を合わせた選択肢

(5) 観る・応援するスポーツについて

- ① 市内で観戦するなら、どんなスポーツ観戦を望みますか。（あてはまるものすべてに○）

どのようなスポーツ観戦を望むかについて、全体で「野球」が 41.3%と最も高くなっており、次いで「バレーボール」が 24.2%となっています。

前回調査と比較すると、平成 25 年度で「マラソン・駅伝」が 0.0%なのに対し、令和 2 年度は 12.3%と、12.3 ポイント上がっています。一方、平成 25 年度で「自転車競技」が 18.2%なのに対し、令和 2 年度は 4.2%と、14.0 ポイント下がっています。

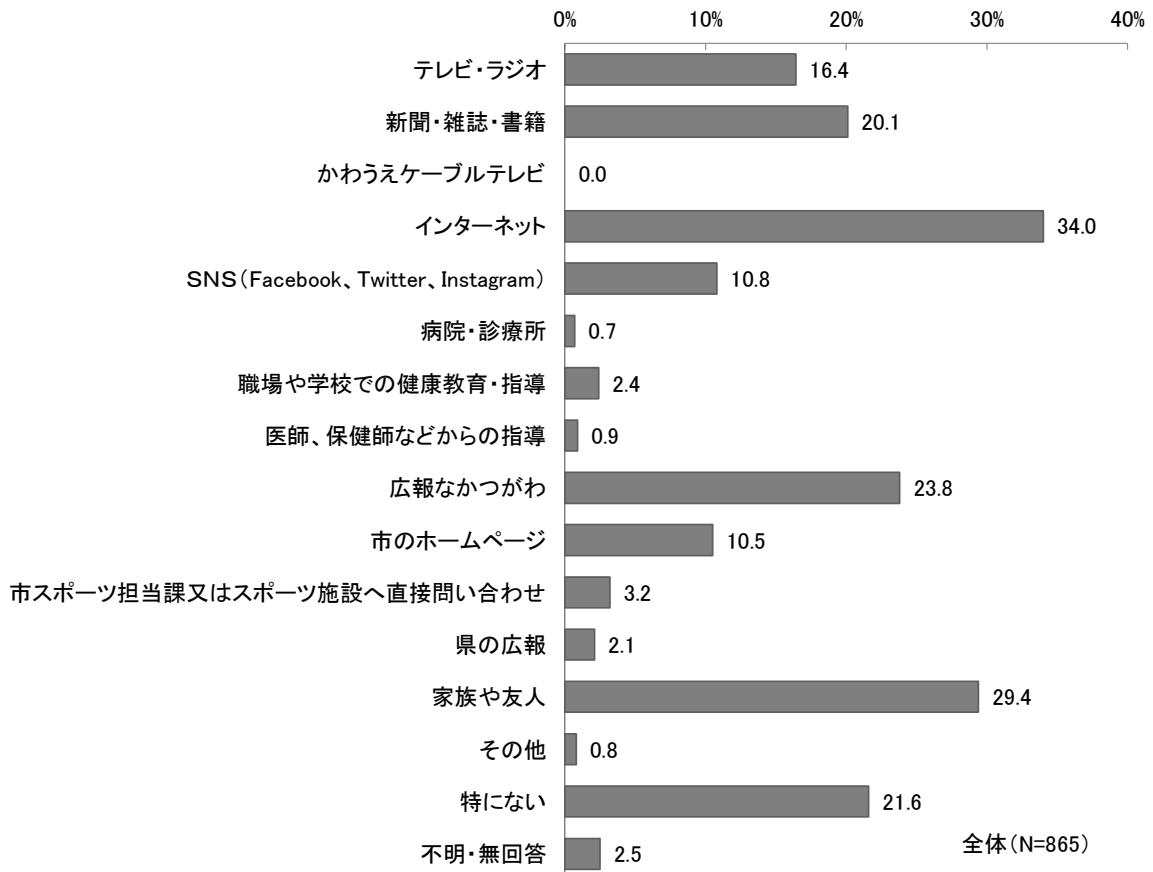


※「特にない」は令和2年度のみを選択肢

(6) 中津川市のスポーツ施策について

- ① あなたは、スポーツをしたいとき、情報をどのように入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

スポーツをしたいとき、情報をどのように入手しているかについて、全体で「インターネット」が34.0%と最も高くなっており、次いで「家族や友人」が29.4%となっています。



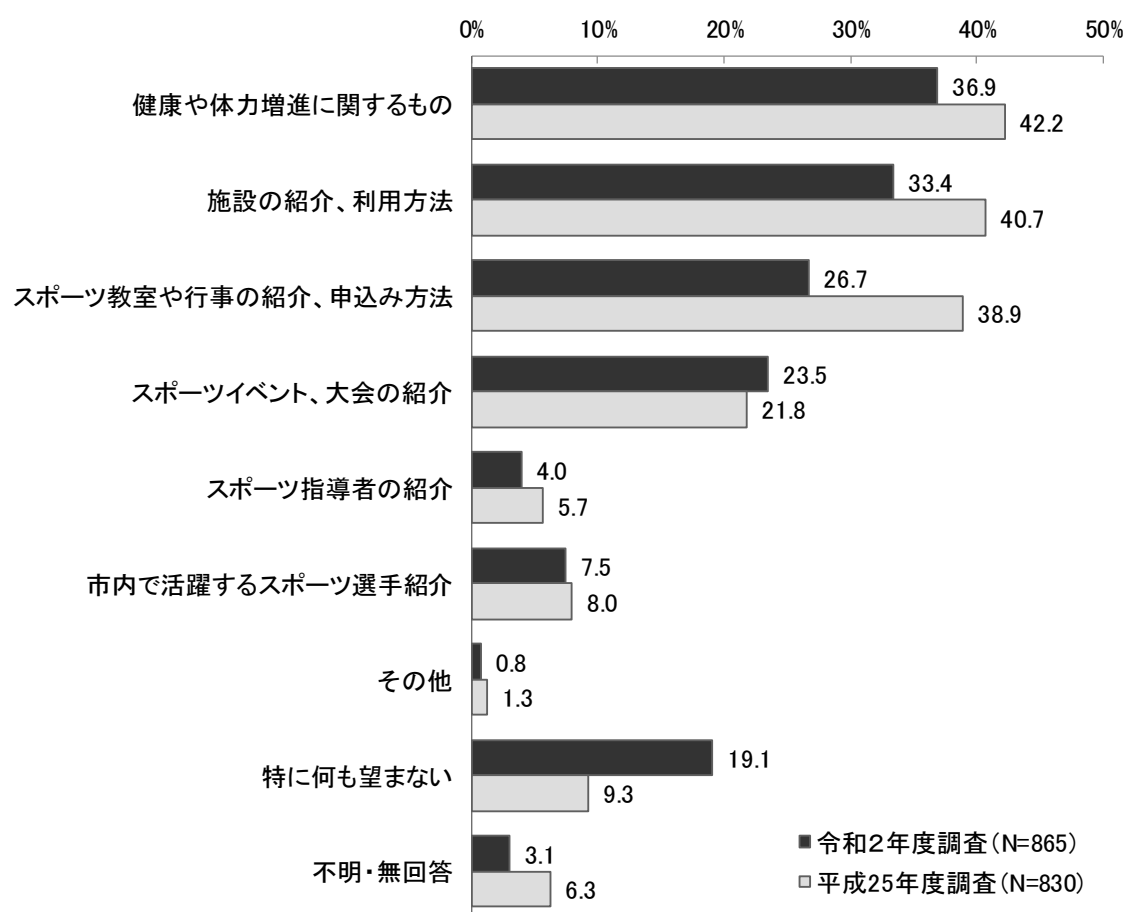
② 市が行うスポーツに関する情報提供に何を望みますか。（あてはまるものすべてに○）

市に求めるスポーツに関する情報について、全体で「健康や体力増進に関するもの」が36.9%と最も高くなっており、次いで「施設の紹介、利用方法」が33.4%となっています。

性別にみると、男性で「スポーツ教室や行事の紹介、申し込み方法」が19.2%なのに対し、女性は32.7%と、13.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、50歳代、60歳代、70歳代以上で「健康や体力増進に関するもの」がそれぞれ、39.2%、43.0%、45.8%と、他の年代と比べて高くなっています。

前回調査と比較すると、平成25年度で「スポーツ教室や行事の紹介、申し込み方法」が38.9%なのに対し、令和2年度は26.7%と、12.2ポイント下がっています。



■クロス集計

(単位%)

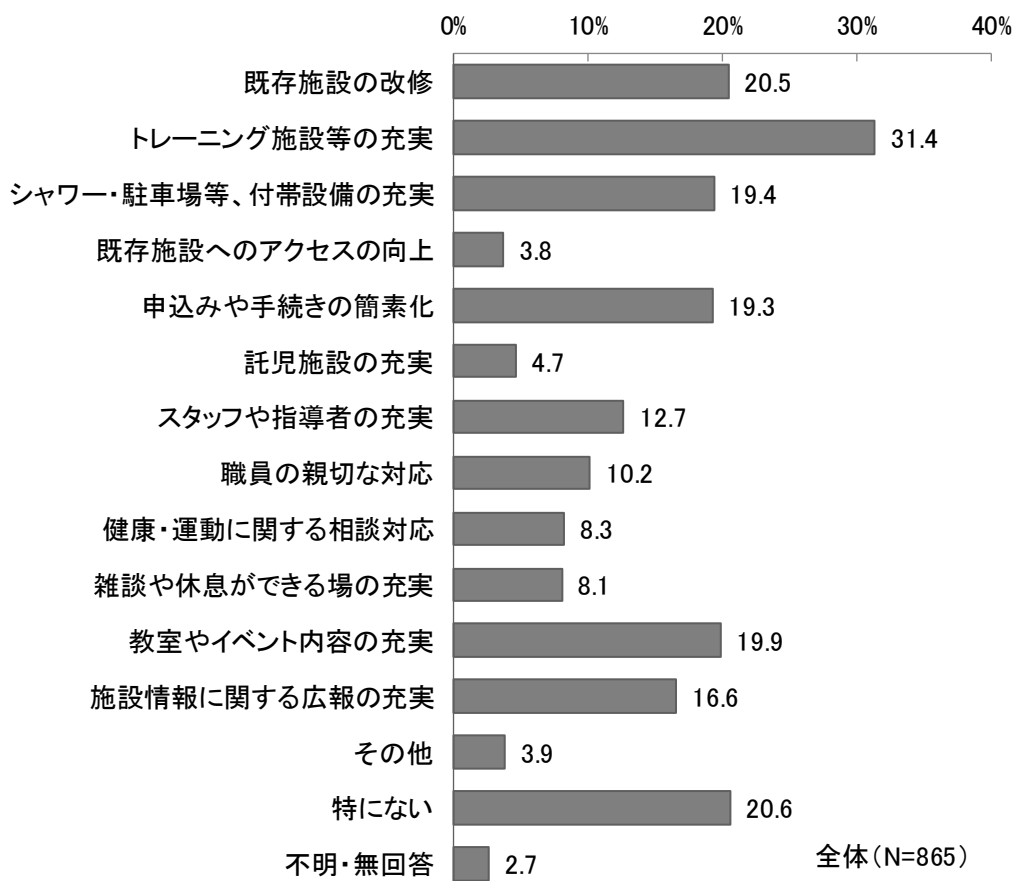
	健康や体力増進に関するもの	施設の紹介、利用方法	スポーツ教室や行事の紹介、申し込み方法	スポーツイベント、大会の紹介	スポーツ指導者の紹介	市内で活躍するスポーツ選手紹介	その他	特に何も望まない	不明・無回答
全体 (N=865)	36.9	33.4	26.7	23.5	4.0	7.5	0.8	19.1	3.1
【性別】									
男性 (N=385)	32.7	30.6	19.2	29.6	4.7	8.8	0.8	22.3	3.1
女性 (N=468)	40.0	35.0	32.7	18.6	3.4	6.4	0.9	16.7	3.2
【年齢別】									
20 歳代 (N=68)	26.5	39.7	23.5	27.9	0.0	5.9	2.9	22.1	2.9
30 歳代 (N=113)	29.2	40.7	31.0	26.5	4.4	8.8	0.0	22.1	1.8
40 歳代 (N=161)	28.6	36.0	34.8	23.6	8.1	7.5	0.0	14.3	1.9
50 歳代 (N=171)	39.2	34.5	29.2	21.6	4.1	12.3	1.8	18.1	1.2
60 歳代 (N=228)	43.0	31.1	25.4	24.1	2.2	5.7	0.4	20.2	3.5
70 歳代以上 (N=120)	45.8	21.7	12.5	19.2	4.2	4.2	0.8	20.0	8.3

③ 今後、市のスポーツ施設に求めることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

市のスポーツ施設に求めることについて、全体で「トレーニング施設等の充実」が 31.4%と最も高くなっており、次いで「特にない」が 20.6%となっています。

性別にみると、男性で「教室やイベント内容の充実」が 11.4%なのに対し、女性で 26.5%と、15.1ポイント高くなっています。

年齢別にみると、30歳代で「託児施設の充実」が 20.4%と、他の年代と比べて高くなっています。



■クロス集計

(単位%)

	既存施設の改修	トレーニング施設等の充実	シャワー・駐車場等、付帯設備の充実	既存施設へのアクセスの向上	申込みや手続きの簡素化	託児施設の充実	スタッフや指導者の充実	職員の親切的な対応	健康・運動に関する相談対応
全体 (N=865)	20.5	31.4	19.4	3.8	19.3	4.7	12.7	10.2	8.3
【性別】									
男性 (N=385)	24.7	32.5	20.5	3.6	19.5	2.3	11.7	8.3	7.0
女性 (N=468)	17.1	30.1	18.8	4.1	19.0	6.6	13.0	11.8	9.6
【年齢別】									
20歳代 (N=68)	29.4	38.2	30.9	8.8	23.5	7.4	13.2	8.8	5.9
30歳代 (N=113)	21.2	45.1	23.9	5.3	16.8	20.4	6.2	16.8	5.3
40歳代 (N=161)	25.5	37.9	21.1	3.1	23.0	3.7	8.7	9.3	3.1
50歳代 (N=171)	22.8	35.1	20.5	0.6	21.6	0.6	14.6	10.5	8.2
60歳代 (N=228)	16.7	24.6	18.0	3.9	17.5	1.3	16.7	5.3	11.4
70歳代以上 (N=120)	11.7	14.2	8.3	5.0	15.0	2.5	14.2	15.0	13.3

	雑談や休息ができる場の充実	教室やイベント内容の充実	施設情報に関する広報の充実	その他	特にない	不明・無回答
全体 (N=865)	8.1	19.9	16.6	3.9	20.6	2.7
【性別】						
男性 (N=385)	6.5	11.4	13.8	4.7	24.9	3.1
女性 (N=468)	9.4	26.5	18.8	3.2	17.3	2.1
【年齢別】						
20歳代 (N=68)	14.7	19.1	10.3	4.4	10.3	0.0
30歳代 (N=113)	12.4	23.9	14.2	8.0	14.2	0.0
40歳代 (N=161)	8.7	23.0	16.1	3.7	14.3	2.5
50歳代 (N=171)	7.6	21.6	19.3	4.1	19.3	0.0
60歳代 (N=228)	5.3	17.1	18.0	2.2	29.4	3.5
70歳代以上 (N=120)	5.8	14.2	16.7	3.3	25.8	9.2

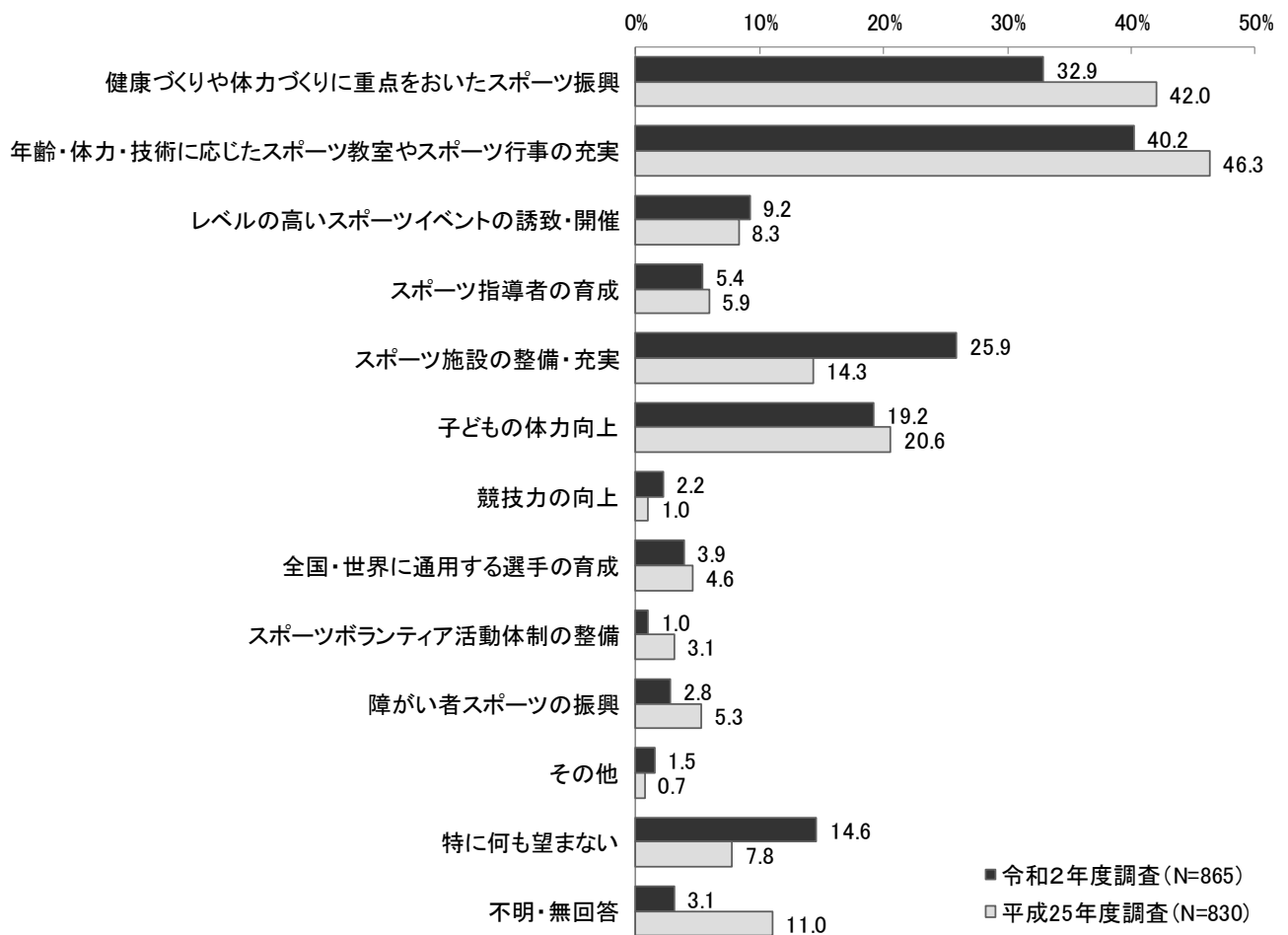
④ あなたは、市のスポーツ振興に対して何を望みますか。（あてはまるものすべてに○）

市のスポーツ振興に対して何を望むかについて、全体で「年齢・体力・技術に応じたスポーツ教室やスポーツ行事の充実」が40.2%と最も高くなっており、次いで「健康づくりや体力づくりに重点をおいたスポーツ振興」が32.9%となっています。

性別にみると、男性で「年齢・体力・技術に応じたスポーツ教室やスポーツ行事の充実」が32.5%なのに対し、女性は45.9%と、13.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、30歳代で「子どもの体力向上」が39.8%と、他の年代と比べて高くなっています。

前回調査と比較すると、平成25年度で「スポーツ施設の整備・充実」が14.3%なのに対し、令和2年度は25.9%と、11.6ポイント上がっています。



■クロス集計

(単位%)

	健康づくりや体力づくりに重点をおいたスポーツ振興	年齢・体力・技術に応じたスポーツ教室やスポーツ行事の充実	レベルの高いスポーツイベントの誘致・開催	スポーツ指導者の育成	スポーツ施設の整備・充実	子どもの体力向上	競技の向上	全国・世界に通用する選手の育成	スポーツボランティア活動体制の整備
全体 (N=865)	32.9	40.2	9.2	5.4	25.9	19.2	2.2	3.9	1.0
【性別】									
男性 (N=385)	29.1	32.5	14.3	5.7	27.3	16.4	3.9	6.0	2.1
女性 (N=468)	36.3	45.9	4.7	5.3	24.8	21.4	0.9	2.4	0.2
【年齢別】									
20歳代 (N=68)	35.3	30.9	4.4	4.4	33.8	23.5	5.9	1.5	1.5
30歳代 (N=113)	35.4	28.3	8.0	3.5	36.3	39.8	0.0	5.3	0.9
40歳代 (N=161)	29.2	36.0	13.0	8.1	31.1	24.8	1.9	4.3	1.2
50歳代 (N=171)	29.2	37.4	9.9	5.3	27.5	12.9	2.3	6.4	1.2
60歳代 (N=228)	34.6	46.5	9.6	5.7	19.3	14.0	2.6	2.2	0.9
70歳代以上 (N=120)	35.8	53.3	6.7	4.2	15.0	9.2	1.7	3.3	0.8

	障がい者スポーツの振興	その他	特に何も望まない	不明・無回答
全体 (N=865)	2.8	1.5	14.6	3.1
【性別】				
男性 (N=385)	2.1	1.8	17.9	2.9
女性 (N=468)	3.4	1.3	12.0	3.4
【年齢別】				
20歳代 (N=68)	5.9	2.9	11.8	1.5
30歳代 (N=113)	0.9	1.8	12.4	1.8
40歳代 (N=161)	1.9	0.0	13.0	1.9
50歳代 (N=171)	2.9	2.9	18.1	1.2
60歳代 (N=228)	3.1	1.3	14.9	3.9
70歳代以上 (N=120)	3.3	0.8	14.2	8.3

3 団体ヒアリング調査から見るスポーツの状況

(1) 調査概要

市内のスポーツに関わる団体に対し、活動を進めるにあたっての環境、指導体制、活動上の課題や今後必要な支援等をうかがい、スポーツによるコミュニティの形成・強化に向けた個別の課題や施策のアイデア・方向性を抽出し、計画の中間見直しの基礎資料とするためにヒアリング調査を実施しました。

■ヒアリング調査の概要

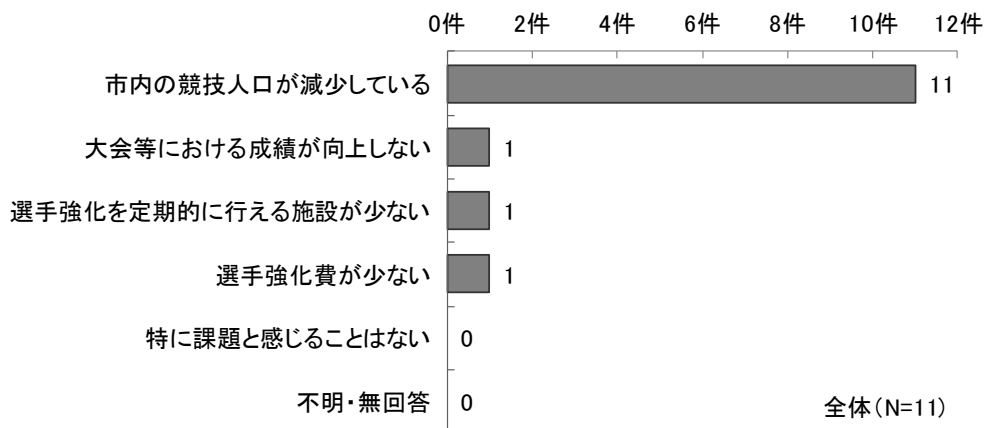
	内容
調査地域	中津川市全域
調査対象	中津川市でスポーツに関わる団体
調査方法	ヒアリングシートによる実施

(2) 市内のスポーツに対して感じていることについて

① 市内のスポーツ活動について、日頃感じている課題をお答えください。

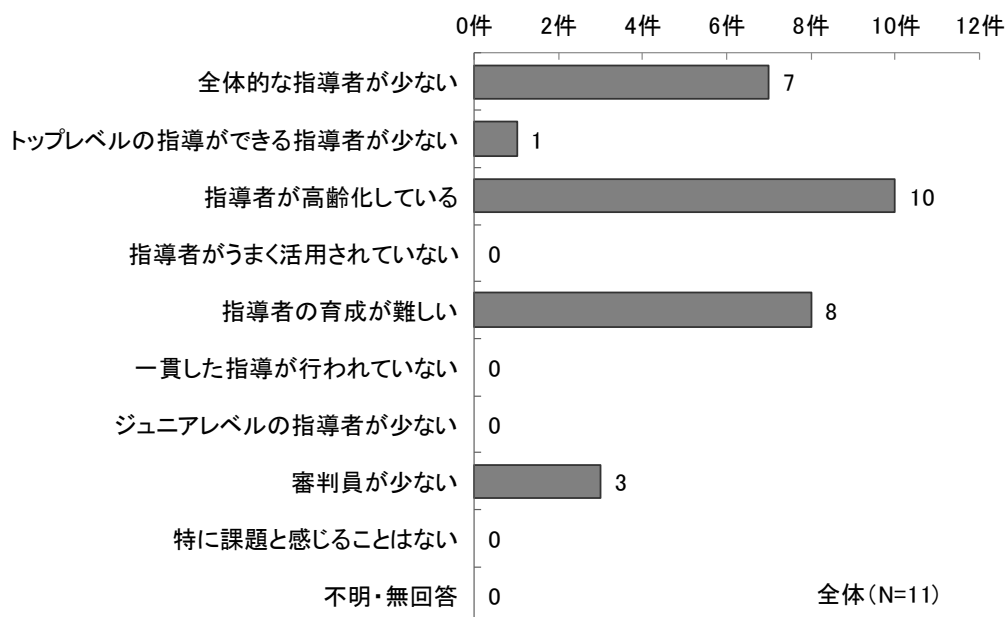
ア 競技人口・競技力について（○は2つまで）

競技人口・競技力についての課題は、「市内の競技人口が減少している」が11件と最も多くなっています。



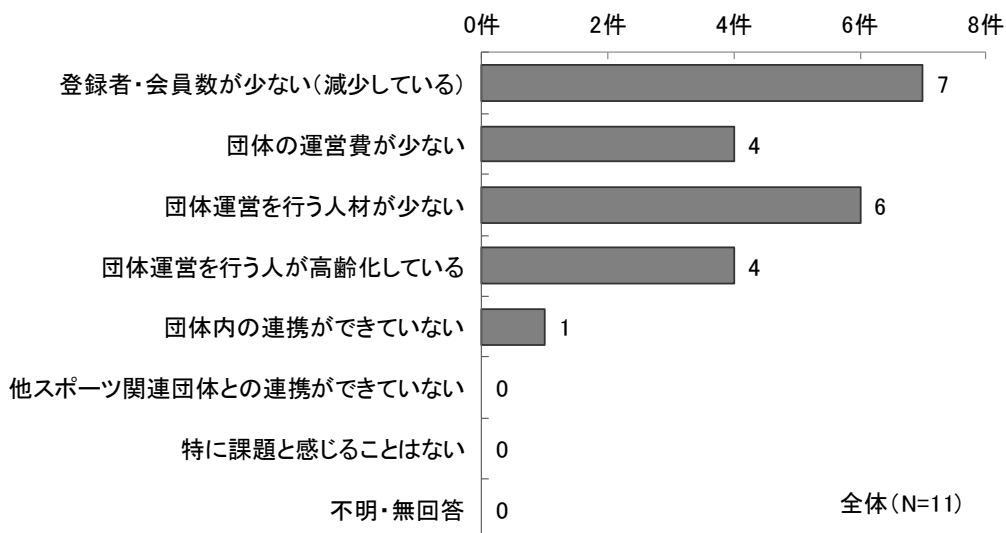
イ 指導者について（〇は3つまで）

指導者についての課題は、「指導者が高齢化している」が10件と最も多く、次いで「指導者の育成が難しい」が8件となっています。



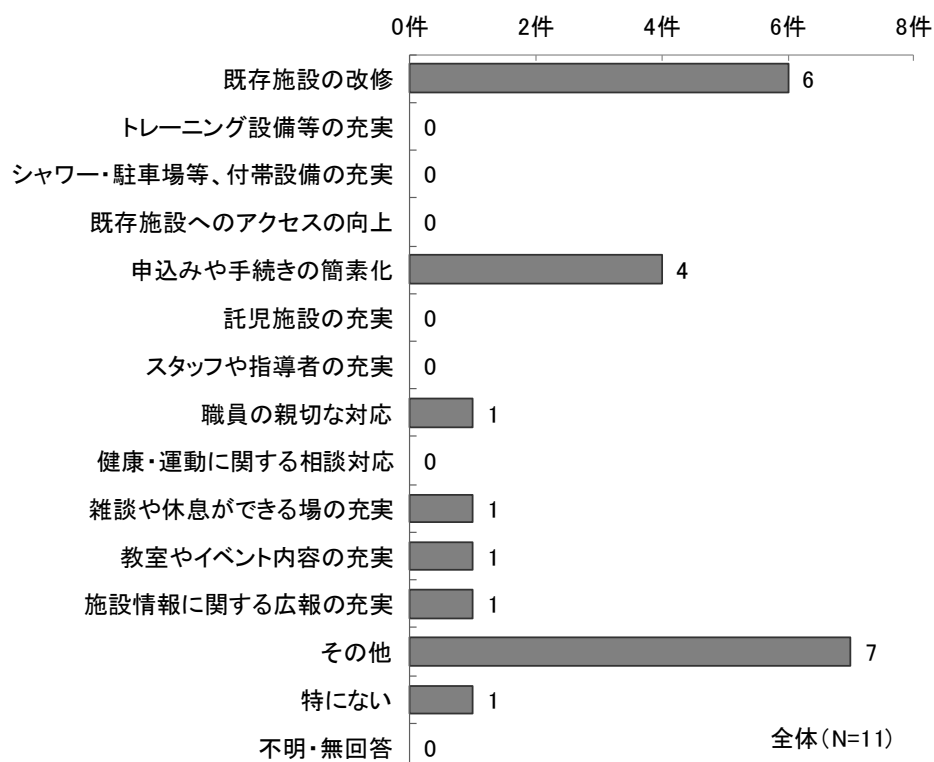
ウ 団体の運営について（〇は3つまで）

団体の運営についての課題は、「登録者・会員数が少ない（減少している）」が7件と最も多く、次いで「団体運営を行う人材が少ない」が6件となっています。



② 今後、市のスポーツ施設に求めることは何ですか。

今後、市のスポーツ施設に求めることは、「その他」が7件と最も多く、次いで「既存施設の改修」が6件となっています。なお、「その他」の具体的な内容としては、「施設設備・器材等の整備、充実」「施設利用料や予約など」について多くなっています。



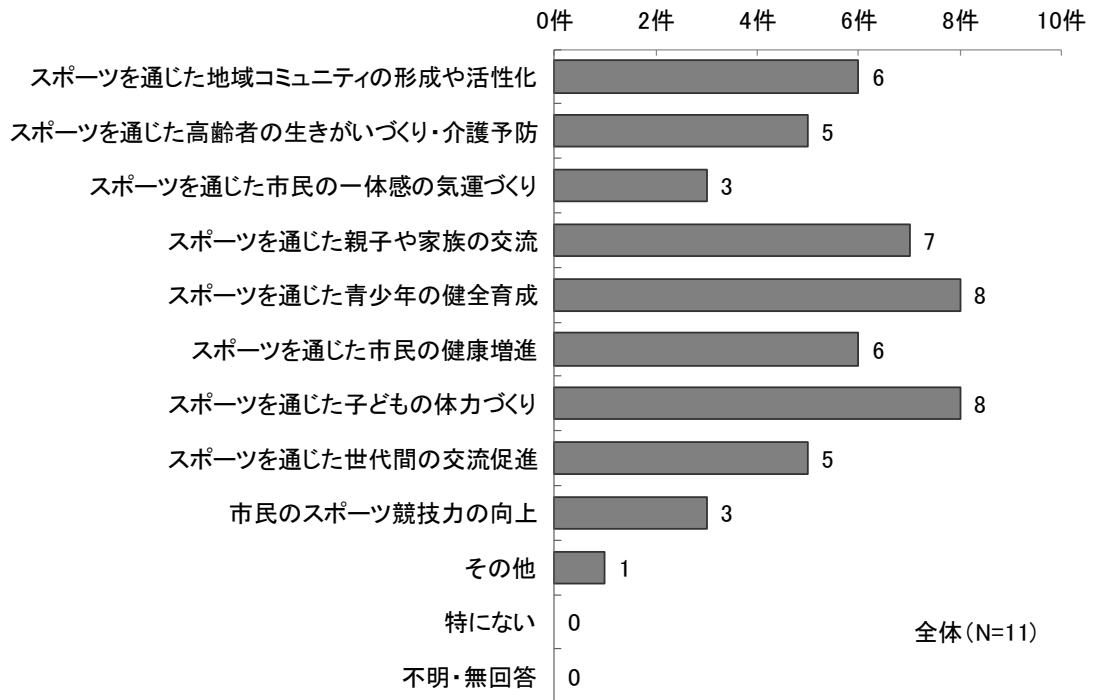
■ 「その他」の具体的な内容

「その他」回答	件数
■施設設備・器材等の整備、充実について	
○備品整備。	1
○機材不足。	1
○人工芝グラウンドの設置。	1
■施設利用料や予約などについて	
○誰もが気軽に使える施設。	1
○使用料金減免・有料の明確化。	1
○予約の仕方と減免制度。	1
■新型コロナウイルス感染症予防対策について	
○消毒など。	1

(3) 地域におけるスポーツ振興について

① 地域におけるスポーツ振興に向け、活動しながら心がけていることはありますか。

活動しながら心がけていることは、「スポーツを通じた青少年の健全育成」「スポーツを通じた子どもの体力づくり」がそれぞれ8件と最も多く、次いで「スポーツを通じた親子や家族の交流」が7件となっています。



(4) 今後の方向性について

① 団体において、活動をするうえでの課題はありますか。

自由記述
■競技人口、場所について
○少子化により生徒数が減り、指導者も少ないため、今後の継続的な活動ができるか心配である。
○選手数、指導者数の増員。
○子ども（小学生）のスポーツ離れにより、スポ少の加入率が低下している。
○指定管理を受け自主事業を企画して開催しておりますが、参加者の減少により、事業を行う都度赤字を計上する現状です。地域の住民がどのようなスポーツに関心があるのか、まったくつかめない状態です。自分の行いたいスポーツだけをやり、活動が特化してきている。
○地元に残る若者が少なく、加入者がほぼいない。
○活動場所の確保が難しい（他団体との取り合いみたいな状況になっている）。
■指導者について
○指導者の確保。
○世代交代をしたいが、責任を負える人材を育てるには課題がある。
○指導者の向上研修への参加が少ない（指導もあるので、なかなか時間が取れない等の理由）。参加してもらうにはどうしたらよいか。
○指導者の資格問題で、指導者個人で移行の手数料や登録料を払い、4年に一度の更新（更新料）と研修を受講する必要がある。そのため登録する指導者が減る傾向にある。
○審判員の高齢化、不足。
■運営資金や会費等について
○登録チームの経済的負担（チーム数が減ってきているため、負担金が増える）。
○若者を加入させても、活動費等の支払いに難色を示す。
○総合型の設立にあたって軌道に乗るまでの助成金が終了してしまった今、今後の活動の存続と、拠点となる場所、資金が難しい。
○総合型地域スポーツクラブを指定管理だけでなく、スポーツイベントや教室、健康維持のための講座等の企画運営を委託されるような活動をしたいので、総合型に予算をつけてほしい。
■活動の周知について
○総合型地域スポーツクラブというものが、行政にも、市民にも理解されていない。
○地域住民がスポーツに興味を持ってもらえる事業の充実を図る必要がある。
○行政と協働しながら、市民の皆さんがスポーツを楽しむ形をつくる必要がある。
■施設設備・器材等の整備、充実について
○スポーツを目的とした県外の人々の往来を増やすためにも、人工芝グラウンド等スポーツ施設を増やしたほうが良い。人の流れができれば市が盛り上がる。
■コロナ禍の影響について
○コロナの関係で大きなイベントが延期・中止となり、活動の場の減少。
○スタッフ間の連携を取る時間がなく、特に新型コロナ感染症拡大防止対策下においてはスタッフ会議、育成会会議の機会が持たなくて困っている。
■その他
○子どもの体力低下に伴い、心の育ちが不安定な子どもや過保護な保護者が増えている。
○組織が立ち上がったばかりで、種目団体間の交流、組織の目的等に理解不足の面がある。
○以前のような地域で行う活動は全体に薄れており、各地域にスポーツ関係の委員もいましたが、あまり協力を得られないのが現状です。

② 今後、団体として力を入れて取り組みたいことはありますか。

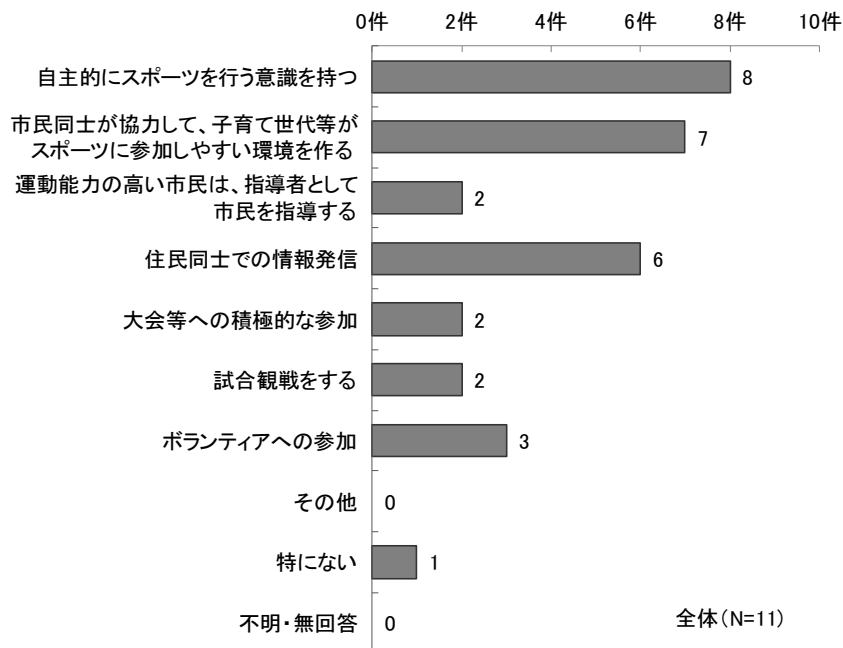
自由記述
■指導者の資質向上、育成
○指導者育成。
○指導者のレベルアップ、スキルアップ。
○指導者の資質向上。
○若い指導者の増員と育成。
■組織強化
○クラブ全体のレベル強化。
○スタッフの育成と保護者の協力体制の強化。
○組織の充実と連携。
○運営資金の確保（スポンサー及び協賛企業の確保）
○各大会での結果。
■競技人口の増加のための周知、募集
○加入団体を中心に、レクリエーションフェスティバルで市民の皆さんに体験していただきたい。
○子どもがスポーツを始めるきっかけづくりとなる事業。
○新規団員の募集。
○柔道は青少年の健全育成によいスポーツであることを周知し、競技人口の増加を目指したい。
■その他
○子どもの心身の成長を促す活動と、保護者への家庭教育支援の推進。
○段位審査等。
○障がい者スポーツへの取組。
○参加者が参加しやすい公民館講座や市民講座等を行政と協働することで、参加者はより参加しやすく、クラブとしても資金的に開催しやすくなる。
○市との関わり方。例として、清掃活動やイベントの手伝い等のボランティア。
○去年は、町協・青少年健全等組織と共催で事業を行いました。一つの事業を行うのに単体で行うより大変でしたが、今後も地域の様々な組織と共催し、地域全体で大きな事業が開催できればと考えます。また、諸団体への橋渡し役を市で行っていただけると助かります。
○乳幼児やシニア向けの講座や教室、イベントはあまり高い参加費の設定ができない。

- ③ 中津川市におけるスポーツ振興に向け、市との協働や他団体との連携で、できることはありますか。

自由記述
■イベントの共催やイベントへの参加
○イベントの共催等（可児徳ドッジボール大会等）。
○市総合体育大会における柔道競技によって、市内の競技者間の交流を図りたい。
○三市交流事業 夢ドッジへの参加。
○総合型地域スポーツクラブだからこそできることが沢山ある。
○中津川市ホームタウンデーへの参加。
○東濃地区交流会（駅伝、野球、サッカー、スケート等）。
○問7の3つ目の回答と同じで、様々なイベント等を通して市と関わりを持つ事は可能だと思います（手伝い、ボランティア等）。
■その他具体的な連携等内容
○イベント、行事等、広報を使用してPR活動がしたい。
○指導者研修会などの開催。
○各課（スポーツ課、市民福祉部、教育委員会）と連携を持ち、世代間交流を企画・開催したい。
■その他
○シニアの健康促進等、協働でできることはしていきたいと感じている。生涯学習スポーツ課、健康医療課、公民館、体協、教育委員会等、関係する部署の連携が必要。意見が出し合える機会が必要ではないか。
○上記で少し触れましたが、各地域にある様々な組織・団体（スポーツに限らず）と話し合える様な機会と橋渡し役を設けていただきたい。
○当クラブは競技至上主義ではなく、青少年健全育成と地域づくりを目指しています。市のスポーツ振興にも、協働して、市民の皆さんがスポーツを楽しめる機会を増やすために連携したいと考えていますが、当クラブが主体で動くことについては、本来の活動がおろそかになる可能性があるのもので難しい。しかし、市よりお声かけがあれば、対応させていただくことは可能である。
○市としてスポーツを盛り上げる。
○現在、公民館講座として補助をいただいているので、今後もその継続を希望します。
○収入源が会費しかない中で、運営していくのは困難。公民館講座、イベント企画、講師、スポーツ指導、健康福祉まつり、スポーツフェスティバル等、予算をつけてもらいたい。

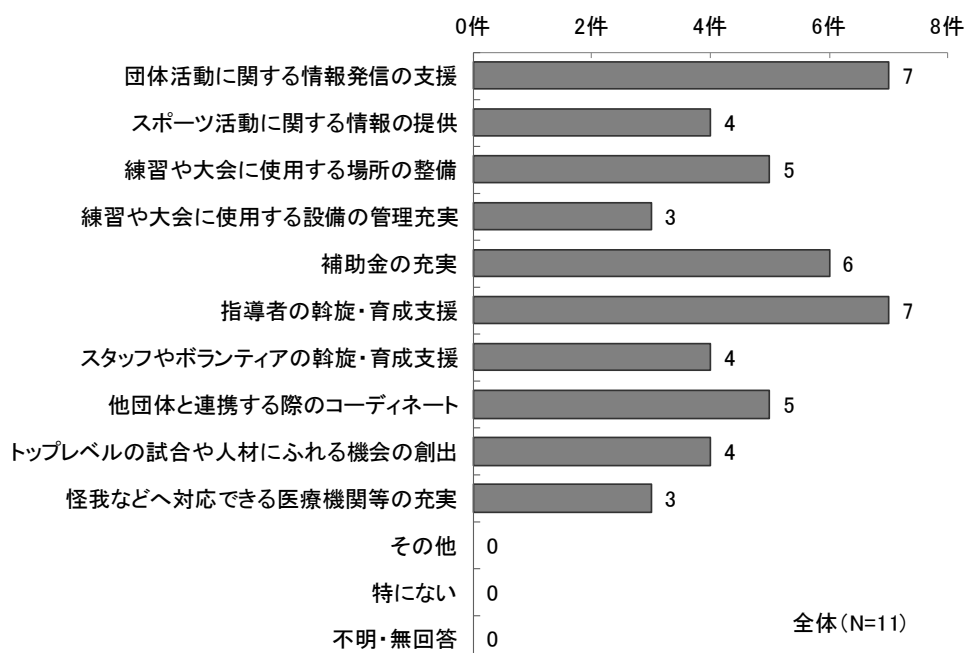
④ 中津川市におけるスポーツ振興に向けて、市民にどのような役割を期待しますか。
 (あてはまるものすべてに○)

市民に期待する役割は、「自主的にスポーツを行う意識を持つ」が8件と最も多く、次いで「市民同士が協力して、子育て世代等がスポーツに参加しやすい環境を作る」が7件となっています。



⑤ 中津川市におけるスポーツ振興に向けて、市にどのような支援を期待しますか。
 (あてはまるものすべてに○)

市に期待する支援は、「団体活動に関する情報発信の支援」「指導者の斡旋・育成支援」がそれぞれ7件と最も多く、次いで「補助金の充実」が6件となっています。



4 中津川市スポーツ推進計画の推進状況

本市では、「中津川市スポーツ推進計画」を策定し、「スポーツで人と地域が かがやくまちなかつがわ」という基本理念を掲げ、3つの基本目標に基づき施策を展開してきました。

このたび、「中津川市スポーツ推進計画」の中間見直しにあたり、計画策定後からこれまで進めてきた施策・事業の推進状況を整理します。

(1) 生涯にわたるスポーツ活動の推進

施策	取組内容・課題等
<p>1. 子どもが楽しめるスポーツ活動の推進</p>	<p>子どもがスポーツを楽しむために、総合型スポーツクラブや公民館で、親子を対象とした運動教室を実施してきました。</p> <p>今後も、子どもが身近に運動・スポーツを楽しめる環境づくりを進めることで、日常的に運動・スポーツに取り組む市民を増やすことが重要です。</p> <p>子どものスポーツ活動を推進するための取組として、平成 23 年度より日本サッカー協会が推進している「こころのプロジェクト『夢の教室』」事業を実施しており、市内小学校にトップアスリートを招き、トップアスリートと一緒にゲームを行ったり、経験談に基づく夢に関する授業を行っています。また、中学生以下の子どもたちを対象に、表彰委員会が定めるスポーツや文化の事業及び県大会・全国大会で優秀な成績を収めた個人及び団体に、その頑張りを称えて「中津川市子ども金メダル」を贈呈しています。</p> <p>一方、令和元年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果によると、平成 26 年度と比較して体力合計点が下がっていることから、子どもの体力低下が懸念されています。</p> <p>今後は、教育委員会だけでなく、スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブなど、地域で活動しているスポーツ団体と一層の連携を図り、子どものスポーツ活動を総合的に推進する必要があります。また、国において平成 30 年に公表された「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に基づき、適切な部活動運営のための整備に取り組む必要があります。</p>



こころのプロジェクト「夢の教室」



施策	取組内容・課題等
2. 成人期におけるスポーツ機会の充実	<p>本市では、乳幼児の子育てをしている女性を対象に、中津川市児童館・児童センターや子育て支援センター等で、親子でふれあいながら身体を動かすことができる運動教室の開催、仕事終わりに立ち寄ることができるスポーツ教室やスポーツ施設の充実、女性や若者といった特定の年齢を対象としたスポーツ教室やイベントの実施など、ライフステージに対応したスポーツ推進の取組を行ってきました。</p> <p>アンケート調査によると、週に1回以上スポーツをしている人の割合は44.7%となっています。スポーツを行えない理由としては、「仕事や家事が忙しいから」や「生活や仕事で体を動かしているから」の割合が高くなっています。</p> <p>今後は、特に30歳代、40歳代にスポーツ活動の啓発を行うとともに、子育てや仕事を行っていても参加しやすいスポーツ教室やイベントの開催に取り組む必要があります。</p>
3. 高齢者、障がい者のスポーツ活動の推進	<p>本市では、高齢者の介護予防を目的として、公民館での運動機能向上のための筋力・柔軟性を高めるリハビリ教室や、体操とレクリエーションを取り入れた運動教室などを開催してきました。また、高齢者を対象としたスポーツ大会等を実施し、高齢者が日常的に運動・スポーツに取り組む環境づくりを進めてきました。</p> <p>また、障がい者を対象としたスポーツ教室やイベントの実施が求められていることから、今後は障がい者も気軽にスポーツに取り組める環境づくりを進める必要があります。</p>
4. 競技スポーツの振興	<p>本市では、県内有数のスポーツ施設を有しており、競技スポーツの指導を充実させるとともに、中津川市体育協会等のスポーツ関係団体や障がい者団体との連携により、アスリートの育成や活動を支援してきました。また、令和3年に開催が予定されている東京オリンピック・パラリンピック競技大会を機に、アメリカ代表レスリングチームのホストタウンとして事前合宿を招致し、市民との交流を図りながらスポーツ意識の高揚に努めてきました。</p> <p>一方、市民がスポーツや運動をやってみたいと思う理由について、「健康のため」や「運動不足を感じるから」の割合が高くなっています。</p> <p>今後も、アスリートとの交流やプロスポーツ観戦事業を推進し、運動やスポーツに取り組む市民を増やすことが重要です。</p>



(2) スポーツを通じた地域づくりの推進

施策	取組内容・課題等
1. スポーツ推進委員の活動支援	<p>本市では、「一市民1スポーツ」の推進のための指導や助言、ニュースポーツの紹介や普及などの活動を促進するため、スポーツ推進委員の研修機会の充実や、活動にあたってのスポーツ施設等活動の場の提供による支援を行ってきました。また、地域スポーツ活動の核となる総合型地域スポーツクラブや各種団体との連絡調整の場を設け、協力体制の強化と連携を図っています。</p> <p>今後も、スポーツ推進委員と連携し、地域スポーツ活動の発展に取り組めます。</p>
2. 総合型地域スポーツクラブの活動支援	<p>スポーツ推進委員と同様、地域に根差したスポーツ活動の拠点として、各種の事業やスポーツ教室を行う場として支援を行ってきました。</p> <p>現在、市内で活動している総合型スポーツクラブは4つとなっています。</p> <p>また、アンケート調査によると、総合型スポーツクラブを知っているかについて、「名称も活動内容も知らない」が74.6%となっており、十分に認知されていない結果となっています。</p> <p>今後は、新たな総合型スポーツクラブの設立支援を行うとともに、市民への情報発信を通して、認知度向上につなげることが大切です。</p>
3. 地域のスポーツ活動の推進	<p>地域ごとに区民ソフトボール大会や区民マレットゴルフ大会などのスポーツ行事や地域内の交流とコミュニティ及び親睦を図る目的で、区民運動会を計画的に実施してきました。また、民間企業や近隣大学と連携し、スポーツイベントの周知・啓発や指導を実施してきました。加えて、豊かな自然環境や歴史文化財を活かした登山やウォーキングコースを設定し、パンフレット等による広報活動を行ってきました。</p> <p>一方で、区民運動会を実施している地区が減少しており、担い手の不足が課題となっています。</p> <p>今後も、スポーツを通じた地域づくりに向けて区民運動会やスポーツ行事を継続していくとともに、企業や大学と連携し、より市民が参加しやすい仕組みをつくっていきます。</p> <p>また、本市の豊かな自然資源や文化資源を活用したスポーツ活動の推進を図ります。</p>



西支部軽スポーツ祭



ウォーキングコース選定

(3) スポーツに親しむことのできる環境の整備・充実

施策	取組内容・課題等
<p>1. スポーツ施設・設備の整備・充実</p>	<p>既存のスポーツ施設について、利用者の安全性と利便性を考慮し、必要に応じて施設の改修・修繕を実施してきました。また、地区ごとにウォーキングコースを設定し、市民が身近で気軽にスポーツ活動に取り組める環境整備に努めてきました。</p> <p>アンケート調査によると、この1年間に取り組んだスポーツ、今後取り組みたいスポーツともに「ウォーキング」が高いことから、今後はウォーキング教室を開催するなど一層の啓発に努めます。</p> <p>一方、市のスポーツ施設に求めることについて「トレーニング施設等の充実」「既存施設の改修」が高くなっていることから、今後は市民のニーズをしっかりと把握し、適切に対応する体制の整備が重要です。</p>
<p>2. スポーツ施設の利用促進</p>	<p>施設利用のニーズに応じた適切な維持管理を進めるため、地域・関係団体による指定管理を促進してきました。また、学校施設を市民の文化・スポーツ活動に活用する学校開放を行い、多くの市民に利用されています。</p> <p>スポーツ施設の利用人数・稼働率については、サンライフ中津川や各地域のB&G海洋センター等の体育館の利用が多くなっています。</p> <p>今後は、市民のニーズを把握し、地域・関係団体による指定管理を進めるとともに、施設の利用料金の見直し検討も行っていきます。</p>
<p>3. スポーツ団体・指導者の育成・支援</p>	<p>中津川市体育協会の加盟団体やスポーツ少年団が開催するスポーツ行事等への支援を行い、市民がスポーツに親しめる環境の充実を図ってきました。また、スポーツ推進委員やスポーツ関係団体など、本市のスポーツ推進を担う人材と連携し、活動の推進を図ってきました。</p> <p>アンケート調査によると、指導者のニーズについて「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」「健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」が求められています。</p> <p>今後は、スポーツ団体との連携を図り、スポーツ指導者の研修機会の充実や新たなスポーツ指導者の発掘・育成に努めます。また、スポーツ指導者登録システムを構築し、適切なスポーツ指導者の派遣体制を整備します。</p>
<p>4. スポーツに関する情報やニーズの把握と活用</p>	<p>各地域の総合事務所・地域事務所を拠点として各種スポーツ教室やスポーツ行事を実施し、情報を集約し、広報やホームページ等で、わかりやすく情報提供してきました。</p> <p>一方、FacebookやTwitterなどSNSを活用した情報発信を行う体制が整備されておらず、市民への周知は十分でないと考えられます。</p> <p>アンケート調査によると、市に求めるスポーツに関する情報について、「健康や体力増進に関するもの」や「施設の紹介、利用方法」が高くなっています。</p> <p>今後は、市民のニーズに合った情報を様々な媒体で発信することで、より多くの市民に周知することが重要です。</p>

■ ライフステージに応じた運動・スポーツとの関わり

